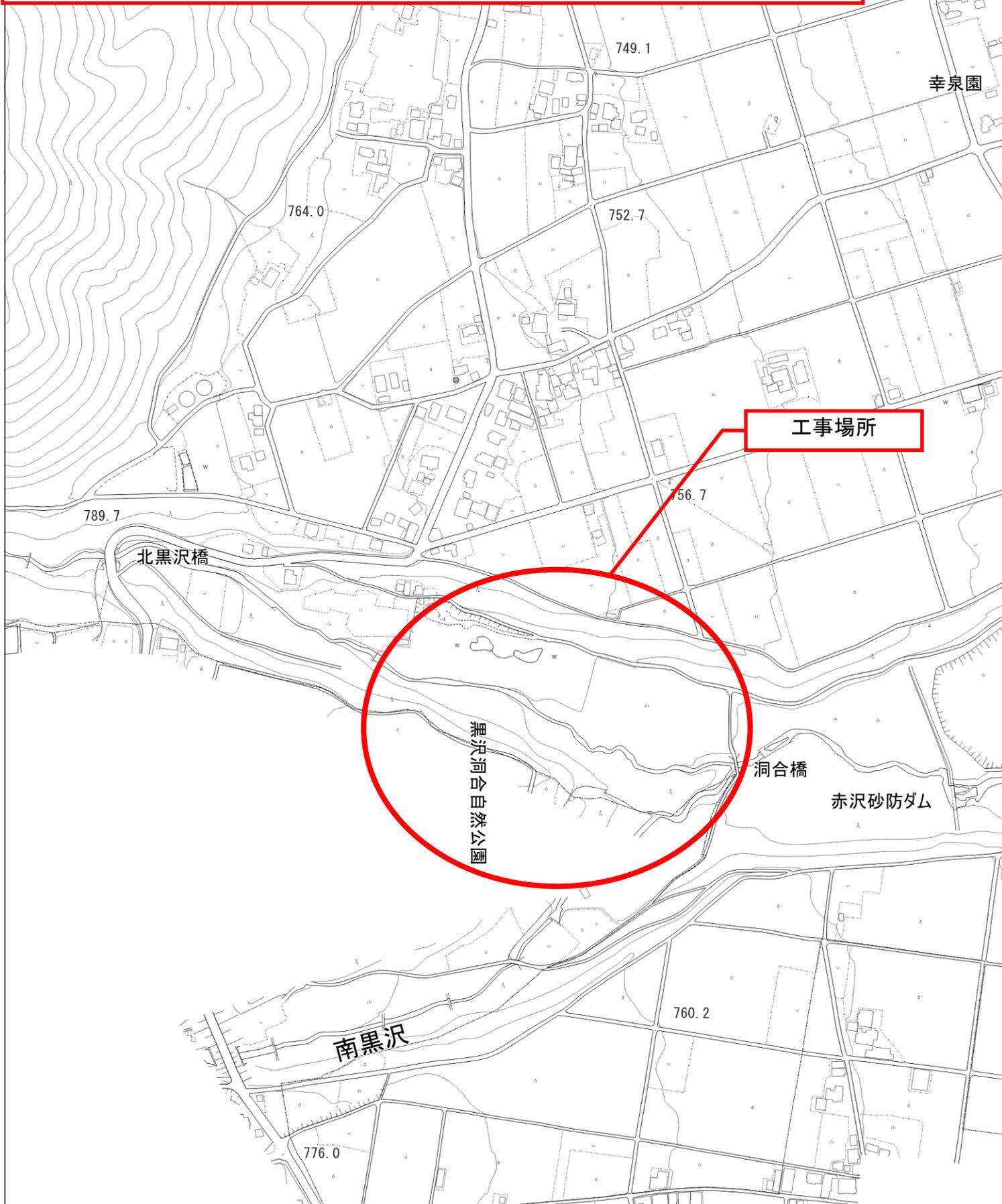


【位置図】

令和7年度 黒沢洞合自然公園
公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事



	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	令和7年度 黒沢洞合自然公園公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事						
	総括表						
A	共通仮設工事	率仮設費+積上げ仮設	1.0	式			
B	直接工事費 計		1.0	式			
	純工事費		1.0	式			
C	現場管理費		1.0	式			
	工事原価 計		1.0	式			
D	一般管理費		1.0	式			
	工事価格		1.0	式			
	消費税等相当額		1.0	式			10.00%
	工事費 計		1.0	式			

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
A	共通仮設工事						
	共通仮設	率仮設費	1.0	式			
	小 計						
	積上げ仮設						
	ガードフェンス	1810×1800 6か月	70.0	m			
	キャスターゲート	1800×6000 6か月	2.0	か所			
	交通誘導員		60.0	人			
	単管バリケート	3か月 31.0m	1.0	式			
	小 計						
	計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	令和7年度 黒沢洞合自然公園公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事						
	直接工事費						
B-1	建築主体工事		1.0	式			
B-2	電気設備工事		1.0	式			
B-3	機械設備工事		1.0	式			
B-4	既存トイレ補修工事		1.0	式			
	総 合 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	令和7年度 黒沢洞合自然公園公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事						
B-1	建築工事 直接工事費						
	科 目 別						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	基礎工事		1.0	式			
3	木工事		1.0	式			
4	屋根・板金工事		1.0	式			
5	防水工事		1.0	式			
6	左官・吹付工事		1.0	式			
7	建具工事		1.0	式			
8	塗装工事		1.0	式			
9	内外装工事		1.0	式			
10	仕上ユニット工事		1.0	式			
11	処理装置工事		1.0	式			
	合 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	中 科 目 別						
1	直接仮設工事	1 - 1 直接仮設	1.0	式			
	計						
2	基礎工事	2 - 1 土 工	1.0	式			
		2 - 2 地 業	1.0	式			
		2 - 3 鉄 筋	1.0	式			
		2 - 4 コンクリート	1.0	式			
		2 - 5 型 枠	1.0	式			
	計						
3	木工事	3 - 1 木 材	1.0	式			
		3 - 2 外 部	1.0	式			
		3 - 3 内 部	1.0	式			
		3 - 4 その他	1.0	式			
		3 - 5 大工手間等	1.0	式			
	計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
4	屋根・板金工事	4 - 1 屋根・板金	1.0	式			
	計						
5	防水工事	6 - 1 外 部	1.0	式			
		6 - 2 内 部	1.0	式			
	計						
6	左官・吹付工事	7 - 1 外 部	1.0	式			
		7 - 2 内 部	1.0	式			
	計						
7	建具工事	7 - 1 アルミ製建具	1.0	式			
		7 - 2 鋼製建具	1.0	式			
		7 - 3 軽量鋼製建具	1.0	式			
		7 - 4 木製建具	1.0	式			
		7 - 5 ガラス	1.0	式			
	計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
8	塗装工事	8 - 1 外 部	1.0	式			
		8 - 2 内 部	1.0	式			
		8 - 3 建 具	1.0	式			
	計						
9	内外装工事	9 - 1 外 部	1.0	式			
		9 - 2 内 部	1.0	式			
	計						
10	仕上ユニット工事	10 - 1 サイン	1.0	式			
		10 - 2 備 品	1.0	式			
	計						
11	処理装置工事	11 - 1 処理装置	1.0	式			
	計						
	合 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	やりかた		43.4	m ²			
	墨出し		43.4	m ²			
	養生費		43.4	m ²			
	整理清掃費		43.4	m ²			
	外部足場	手摺先行方式 枠組足場 W= 900 H=12.0m未満	123.0	m ²			
	災害防止	安全手すり	35.5	m			
	災害防止	シート養生	88.9	m ²			
	地足場		43.4	m ²			
	内部足場	脚立	43.4	式			
	仮設材運搬費		1.0	式			
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2	基礎工事						
2-1	土 工						
	根切り	機械 H=1.75m 総掘り	128.0	m3			
	床付け		44.4	m2			
	埋め戻し	根切土利用	61.3	m3			
	建設発生処分	場内敷均し	66.3	m3			
	機械運搬費		1.0	回			
	小 々 計						
2-2	地 業						
	砕石地業(再生砕石)		8.2	m3			
	捨てコンクリート	品質基準強度 Fc-18.0 S-15	2.2	m3			
	コンクリート打設費	捨てコンクリート	2.2	m3			
	ポンプ圧送費	1回打設量 50m3以下 基本料金(圧送料金共)	1.0	回			
	小 々 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2-3	鉄 筋						
	異形鉄筋	SD295A D-10	0.1	t			
	異形鉄筋	SD295A D-13	3.7	t			
	スクラップ控除		▲ 0.1	t			
	鉄筋加工組立		3.6	t			
	鉄筋運搬		3.6	t			
	小 々 計						
2-4	コンクリート工事						
	土間コンクリート	品質基準強度 Fc-21.0 S-18	1.5	m ³			
	躯体コンクリート	品質基準強度 Fc-21.0 S-18	28.2	m ³			
	コンクリート打設費	土間コンクリート	1.5	m ³			
	コンクリート打設費	基礎コンクリート	24.9	m ³			
	コンクリート打設費	地上コンクリート	3.3	m ³			
	ポンプ圧送費	1回打設量 50m ³ 以下 基本料金(圧送料金共)	4.0	回			
	温度補正	N-3	29.7	m ³			
	小 々 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2-5	型 枠						
	普通型枠	一般	72.7	m2			
	打放し型枠	B種	121.0	m2			
	型枠運搬費		193.0	m2			
	コンクリート面打放し補修		121.0	m2			
	打継目地		37.6	m			
	化粧目地		9.0	m			
	止水板打込み	9×150	23.4	m			
	アンカーボルト	M12 L=500	28.0	本			
	アンカーボルト	M16 L=500	12.0	本			
	同上据付		40.0	本			
	小 々 計						
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
3	木工事						
3-1	木 材						
	構造材	長野県産材 土台 正角 防虫・防腐材	0.6	m3			
	構造材	長野県産材 杉 正角・平角 KD材	1.2	m3			
	構造材	長野県産材 杉 正角・平角 KD材 見掛け	0.3	m3			
	構造材	長野県産材 杉 平・小割・板 KD材	3.6	m3			
	構造材	安曇野市産材 カラ松 正角 KD材	0.5	m3			
	構造材	安曇野市産材 カラ松 平角 KD材	2.1	m3			
	造作材	長野県産材 カラ松 KD材	0.4	m3			
	造作材	長野県産材 カラ松集成材	0.2	m3			
	小々計						
3-2	外 部						
	野地板	t=12.0 構造用合板	67.4	m2			
	カラ松羽目板	安曇野市産材 外壁 t=15.0 ラフ仕上 塗装品 (指定色)	66.4	m2			
	カラ松羽目板	安曇野市産材 軒天 t=12.0	35.9	m2			
	同上捨て板	t= 9.0 ラワン合板 T-1	35.9	m2			

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	カラ松羽目板	長野県産材 ベンチ 床 t=30.0 0.7m ²	1.0	式			
	小々計						
3-3	内 部						
	カラ松羽目板	安曇野市産材 壁 t=12.0	27.5	m ²			
	ラワン合板	壁 t=12.0 T-1	16.9	m ²			
	ライニング部（化粧ケイカル板） 同上捨て板	t=12.0 耐水合板	0.8	m ²			
	シナ合板	天井 t= 9.0	9.2	m ²			
	小々計						
3-4	その他						
	基礎パッキン	t=20	42.7	m			
	透湿防水シート	外壁	66.3	m ²			
	高性能グラスウール	t=100 24Kg/m ³	29.5	m ²			
	高性能グラスウール	t= 50+50 24Kg/m ³	11.2	m ²			
	柱脚金物	パイプ式独立柱脚 LB+G-140同等品 専用装飾金物共	4.0	か所			
	小々計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
3-5	大工手間等						
	大工手間	プレカット加工含む	1.0	式			
	釘・金物	ホルダ ^g ウン・釘・カスカ ^g イ等	1.0	式			
	建て方用重機損料	ラフテレ-ンクレーン (4.9t)	1.0	式			
	小 々 計						
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
4	屋根・板金工事						
	フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板葺き	立ハレ [®] 葺き (防水工法) t=0.4	71.5	m2			
	同上防水シート敷込	アスファルトルーフィング [®] 940品	71.5	m2			
	軒先・ケラバ唐草	フッ素樹脂塗装GL鋼板 t=0.4加工	34.1	m			
	破風・鼻隠し包み	フッ素樹脂塗装GL鋼板 t=0.4加工 H=120 H= 90 2段	34.1	m			
	開口部上部水切	フッ素樹脂塗装GL鋼板 t=0.4加工 D=60 H=150程度	8.3	m			
	母屋・桁包み	フッ素樹脂塗装GL鋼板 t=0.4加工 角出し 120×150 L=150	14.0	か所			
	法定福利費		1.0	式			
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
5	防水工事						
5-1	(外 部)						
	ケイ酸浸透性塗布防水	地下ピット 立上り	37.9	m2			
	打継目地シーリング	PU-2 20×15	17.4	m			
	建具枠取合いシーリング	MS-2 15×10	37.2	m			
	小 々 計						
	(内 部)						
	取合いシーリング	MS-2 15×10	35.6	m			
	取合いシーリング	ライニング SR-1 10×10 防カビ	3.5	m			
	小 々 計						
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
6	左官・吹付工事						
6-1	(外 部)						
	基礎天端コンクリート金ゴテ	W=150	42.7	m			
	開口部床見切コンクリート金ゴテ	W= 75	8.3	m			
	モルタル金ゴテ	床 貼物下地	14.5	m ²			
	打放し面 撥水材塗布	腰壁	25.1	m ²			
	建具枠詰めモルタル	防水剤	12.9	m			
	小 々 計						
6-2	(内 部)						
	コンクリート金ゴテ	床 水勾配	24.5	m ²			
	モルタル金ゴテ	階段	4.8	m			
	モルタル金ゴテ	床 貼物下地	9.2	m			
	小 々 計						
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
7	建具工事						
7-1	木造用建具	※ 複層ガラス共					
	A W - 1	スベリ出し窓+FIX H 1100 W 690 付属品含む	1.0	か所			
	A W - 2	スベリ出し窓 H 700 W 690 オペレーター・付属品含む	2.0	か所			
	運搬・調整費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	小々計						
7-2	(鋼製建具)						
	S D - 1	両開きフラッシュ戸 H 2500 W 1500 付属品含む	1.0	か所			
	S D - 2	型開きフラッシュ戸 H 2000 W 800 付属品含む	1.0	か所			
	取付・調整費		1.0	式			
	運搬費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	小々計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
7-3	(軽量鋼製建具)						
	L S D - 1	軽量額付片引きハカ ^レ 戸 H 2000 W 1020 付属品含む	1.0	か所			
	取付・調整費		1.0	式			
	運搬費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	小々計						
7-4	(木製建具)						
	W D - 1	片開き框戸 H 2500 W 1500 付属品含む	2.0	か所			
	取付費		1.0	式			
	運搬費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	小々計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
7-5	(ガラス)						
	型板ガラス	t= 4.0 150× 150	1.0	枚			
	強化型板ガラス	t= 4.0 1000× 300	2.0	枚			
	ガラス押エ	シ-リング*	7.2	m			
	施工費		1.0	式			
	運搬費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	小 々 計						
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
8	塗装工事						
8-1	(外 部)						
	木 部 W P S	木材保護塗料 外部仕様 (3回塗り) 素地ごしらい共	35.9	m2			
	小 々 計						
8-2	(内 部)						
	木 部 W P S	木材保護塗料 内部仕様 (2回塗り) 細巾 素地ごしらい共	52.6	m			
	木 部 W P S	木材保護塗料 内部仕様 (2回塗り) 素地ごしらい共	36.7	m2			
	小 々 計						
8-3	(建 具)						
	木 部 W P S	木材保護塗料 外部仕様 (3回塗り) 細巾 素地ごしらい共	6.2	m2			
	鉄 部 D P	細巾 素地ごしらい共	9.6	m			
	鉄 部 D P	素地ごしらい共	14.4	m2			
	小 々 計						
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
9	内外装工事						
9-1	(外 部)						
	複層ビニル床シート貼り	外部仕様 床 t= 2.5 (防滑タイプ)	14.5	m2			
	通気土台水切	カラーGL鋼板 t=0.4加工 D=60 H= 60程度	25.5	m			
	通気見切縁		47.2	m			
	軒先樹脂製換気 L=1800		4.0	か所			
	小 々 計						
9-2	(内 部)						
	複層ビニル床シート貼り	床 t= 2.0 (防滑・防菌タイプ)	9.1	m2			
	ステンレス製ノンスリップ金物	W= 40	7.6	m			
	塩ビ巾木	H= 60	18.4	m			
	化粧珪酸カルシウム板	ライニング t= 6.0	0.8	m2			
	小 々 計						
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
10	仕上ユニット工事						
10-1	(サイン)						
	サイン C (平付) 館名板	SUS製箱文字 焼付塗装 300×300 黒沢洞合自然公園 8文字	1.0	か所			
	サイン A (平付) ピクトサイン	アルミ複合板t3・(裏面捨張t3)・インクジェットシート貼 300×300 1か所/3台	2.0	か所			
	サイン B (平付) ピクトサイン	B1 バリアフリートイレ 絵文字2種+文字 カッティングシート貼	1.0	か所			
		B2 女子トイレ カッティングシート貼 ベース:300×1000ベタシート	1.0	か所			
		B3 男子トイレ カッティングシート貼 ベース:300×1000ベタシート	1.0	か所			
	法定福利費		1.0	式			
	小々計						
10-2	(備品)						
	消火器BOX	カ工業 NHD-1100 同等品	1.0	か所			
	小々計						
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
11	処理装置工事						
	本 体	バイオラックス W-25型	3.0	台			
	配管部品	VU管・排気ファン他	3.0	台			
	施工費		1.0	式			
	運搬費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	令和7年度 黒沢洞合自然公園公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事						
B-2	電気設備工事 直接工事費						
	科 目 別						
1	電灯設備工事		1.0	式			
2	コンセント設備工事		1.0	式			
3	太陽光発電設備工事		1.0	式			
	合 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	中 科 目 別						
1	電灯設備工事	1 - 1 電灯設備	1.0	式			
	計						
2	コンセント設備工事	2 - 1 コンセント設備	1.0	式			
	計						
3	太陽光発電設備工事	3 - 1 太陽光発電設備	1.0	式			
	計						
	合 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
1	電灯設備工事						
	電線	管内 EM-IE 1.6mm× 1	83.0	m			
	電線	管内 EM-IE 2.0mm× 1	34.0	m			
	電線	管内 EM-IE 5.5mm2× 1	16.0	m			
	ケーブル	天井内ころがし EM-EEF 1.6mm -2C	29.0	m			
	ケーブル	管内 EM-EEF 1.6mm -2C	2.0	m			
	ケーブル	天井内ころがし EM-EEF 1.6mm -3C	6.0	m			
	ケーブル	管内 EM-EEF 1.6mm -3C	2.0	m			
	ケーブル	管内 EM-CET 38mm2	4.0	m			
	ケーブル	FEP管内配線 EM-CET 38mm2	6.0	m			
	ケーブル	管内配線 EM-CET 38mm2	4.0	m			
	硬質ビニル電線管(VE)	地中 VE 22	6.0	m			
	合成樹脂製可とう電線管	隠ぺい・コンクリート打込み PF- 16	2.0	m			
	合成樹脂製可とう電線管	隠ぺい・コンクリート打込み PF- 22	2.0	m			
	電線管	露出 EP-19	31.0	m			

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	電線管	露出 EP-25	12.0	m			
	電線管	隠ぺい・コンクリート打込み EP-51	4.0	m			
	波付硬質ポリエチレン管(FEP)	地中 FEP-50	6.0	m			
	防水鋳鉄管	75φ	1.0	個			
	プルボックス	SS300×300×100 WP-SUS	1.0	個			
	アウトレットボックス	VE 四角中浅形 106×106×45 塗代付	1.0	個			
	露出ボックス	丸形 1方出 19	1.0	個			
	露出ボックス	丸形 2方出 25	1.0	個			
	露出ボックス	丸形 3方出 25	4.0	個			
	露出ボックス	角形 1個用 1方出 19	3.0	個			
	埋込形スイッチ	1P15A×2+PL*1 金属P共	1.0	個			
	熱線センサー付自動スイッチ	親機 8A 広角検知型	4.0	個			
	熱線センサー付自動スイッチ	子器 広角検知型	1.0	個			
	サーモスイッチ	支給品	2.0	ヶ所			
	電灯分電盤	L-2	1.0	面			

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	接地工事	Ed	2.0	ヶ所			
	接地極埋設標	黄銅製	2.0	か所			
	埋設標識シート	幅150mm 2倍	12.0	m			
	直線接続材	EM-CET 38mm2用	1.0	式			
	照明器具	A	6.0	台			
	照明器具	B	3.0	台			
	照明器具	C	3.0	台			
	根切り		3.0	m3			
	埋戻し		2.0	m3			
	床付け		3.0	m3			
	川砂		1.0	m3			
	機械運搬費	30Km 以内	1.0	往復			
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2	コンセント設備工事						
	電線	管内 EM-IE 1.6mm× 1	68.0	m			
	電線	管内 EM-IE 2.0mm× 1	116.0	m			
	電線	PF管・CD管内 EM-IE 1.6mm× 1	24.0	m			
	電線	PF管・CD管内 EM-IE 2.0mm× 1	48.0	m			
	電線管	露出 EP-19	44.0	m			
	合成樹脂製可とう電線管	隠ぺい・コンクリート打込み PF- 16	24.0	m			
	アウトレットボックス	VE 四角中浅形 106×106×45	8.0	個			
	露出ボックス	角形 1個用 1方出 19	7.0	個			
	露出ボックス	丸形 1方出 19	3.0	個			
	露出ボックス	丸形 2方出 19	3.0	個			
	露出ボックス	丸形 3方出 19	4.0	個			

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
3	太陽光発電設備工事						
	電線	管内 EM-IE 5.5mm2× 1	8.0	m			
	ケーブル	管内 EM-CE 8mm2 -2C	8.0	m			
	電線管	露出 EP-31	8.0	m			
	太陽光モジュール		6.0	枚			
	延長ケーブル		2.0	本			
	止め金具		32.0	個			
	パソコン		1.0	台			
	搬入・運搬費		1.0	式			
	架台組立・モジュール取付調整費		1.0	式			
	モジュール間配線調整費		1.0	式			
	パソコン試験調整費		1.0	式			
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	令和7年度 黒沢洞合自然公園公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事						
B-3	機械設備工事 直接工事費						
	科 目 別						
1	換気設備工事		1.0	式			
2	衛生設備工事		1.0	式			
	合 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	中 科 目 別						
1	換気設備工事	1 - 1 換気設備	1.0	式			
	計						
2	衛生設備工事	2 - 1 衛生器具設備	1.0	式			
	計						
	合 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
1	換気設備工事						
	EF-1 排気ファン	排気用有圧換気扇 200φ×250m ³ /h×30Pa×20W	2.0	台			
	ウェザーカバー	防虫網付ステンレス製 200φ用	2.0	台			
	温度スイッチ	屋内壁取付	2.0	個			
	OA-1 全閉機構付樹脂グリル	100φ	3.0	個			
	平形ベンドキャップ	ステンレス製 指定色塗装	3.0	個			
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2	衛生設備工事						
2-1	衛生器具設備						
	非水洗腰掛便器	RPA001 暖房便座共	3.0	組			
	スパット取付費	スパット支給品	3.0	個			
	紙巻き器	棚付き2連 (ステンレス製)	3.0	個			
	非水洗床置き小便器	VRA001	3.0	組			
	手すり	樹脂被覆 L型 700L 前出し120	3.0	組			
	手すり	樹脂被覆 跳ね上げ 700L	1.0	組			
	ベビーシート	樹脂製 780×135×1145H	1.0	組			
	ベビーチェアシート	平壁設置	1.0	組			
	粉末消火器	蓄圧式 10型 3.1kg	1.0	本			
	小々計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	令和7年度 黒沢洞合自然公園公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事						
B-4	既存トイレ補修工事 直接工事費						
	科 目 別						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	土間工事		1.0	式			
3	外部改修工事		1.0	式			
4	撤去工事		1.0	式			
	合 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	屋根養生		15.7	m ²			
	外部養生		54.6	m ²			
	屋根整理清掃費		15.7	m ²			
	外部整理清掃費		54.6	m ²			
	外部足場	手摺先行方式 枠組足場 W= 900 H=12.0m未満	117.0	m ²			
	災害防止	安全手すり	27.3	m ²			
	災害防止	シート養生	117.0	m ²			
	仮設材運搬費		1.0	式			
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
2	土間工事						
	根切り	人力	2.2	m3			
	床付け		1.7	m2			
	埋め戻し	人力	1.0	m3			
	建設発生処分	場内敷均し	1.2	m3			
	砕石地業(再生砕石)		0.6	m3			
	捨てコンクリート	品質基準強度 Fc-18.0 S-15	0.1	m3			
	コンクリート打設費	人力	0.1	m3			
	異形鉄筋	SD295A D-10	0.03	t			
	異形鉄筋	SD295A D-13	0.02	t			
	鉄筋加工組立		0.05	t			
	鉄筋運搬		0.05	t			

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	土間コンクリート	品質基準強度 Fc-21.0 S-18	1.2	m3			
	コンクリート打設費	人力	1.2	m3			
	温度補正	N-3	1.2	m ³			
	普通型枠	一般	2.7	m2			
	型枠運搬費		2.7	m2			
	コンクリート金ゴテ		3.6	m2			
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
3	外部改修工事						
	通路床 床板張り替え	長野県産材 杉 t=36	2.3	m2			
	金属製幕板パネル	既製品 H=300 受金具共	16.9	m			
	同上コーナー役物		4.0	か所			
	法定福利費		1.0	式			
	鉄骨階段	溶融亜鉛メッキ処理 H=1180 W=1050 L=2100	1.0	か所			
		ササ桁-PL- 9×250・受材-L-40×40×4 床-CPL- 6・補強つなぎ L-60×60×6					
		手摺-Φ34×2.3 (2段) 手摺子 φ13 @100以下					
	既存カー-GL鋼板 (折版面) アクリルシリコン樹脂塗装	下地処理 (RB種) 共	21.6	m2			
	既存カー-GL鋼板 (横葺面) アクリルシリコン樹脂塗装	下地処理 (RB種) 共	15.3	m2			
	新規床面 木 部 W P S 塗り	木部保護着色塗料 素地ごしらい共	2.3	m2			
	既存外壁面 木 部 W P S 塗替え	木部保護着色塗料 素地ごしらい共	49.0	m2			
	既存軒天面 木 部 W P S 塗替え	木部保護着色塗料 素地ごしらい共	26.3	m2			

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	既存 木 部 W P S 塗替え	木部保護着色塗料 (細巾) 素地ごしらい共	11.9	m			
	既存建具面 木 部 W P S 塗替え	木部保護着色塗料 素地ごしらい共	6.8	m ²			
	既存建具面 木 部 W P S 塗替え	木部保護着色塗料 (細巾) 素地ごしらい共	3.6	m			
	既存母屋 (鉄骨) 面 鉄 部 D P 塗替え	細巾 下地処理 (RB種) 共	1.2	m			
	既存建具 (シャッター) 枠面 鉄 部 D P 塗替え	細巾 下地処理 (RB種) 共	6.3	m			
	手摺部分 合成樹脂ネット取外・再取付		2.1	m ²			
	屋根 人工芝マット取外・再取付	洗浄共	15.7	m ²			
	ホワイトボード取外・再取付	900×1200 クリーニング共	1.0	か所			
	雨落ち部分 砂利敷均し	t=100	13.5	m ²			
	同上鋤取	人力	2.0	m ³			
	建設発生処分	場内敷均し	2.0	m ³			
	小 計						

	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
4	撤去工事						
	(撤 去)						
	幕板撤去	30×360	16.9	m			
	床板撤去	36×180	2.3	m ²			
	木製階段撤去	W=1000 L=1100 程度 ササ桁・踏板・手摺 H=1200	1.0	か所			
	土間コンクリート撤去	t=300 700×1250 0.26m ³ /か所	1.0	か所			
	発生材積込	コンクリートガラ	0.38	t			
	発生材積込	木くず	0.20	t			
	発生材運搬	コンクリートガラ	0.38	t			
	発生材運搬	木くず	0.20	t			
	発生材処分	コンクリートガラ	0.38	t			
	発生材処分	木くず	0.20	t			
	小 計						

現場説明書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称）

令和7年度 黒沢洞合自然公園 公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事

2. 工事場所： 安曇野市 三郷小倉洞合

3. 工事概要： ○公衆用トイレ新築工事（木造平屋建 延べ面積43.4㎡）

- ・非水洗便器（バイオトイレ）の設置
- ・太陽光発電設備設置
- ・上記に伴う電気工事・機械設備工事一式

○既存トイレ補修工事（木造平屋建 延べ面積 19.25㎡）

- ・外壁・軒天等木部の塗装
- ・板金屋根の塗装、屋根幕板を板金幕板に改修
- ・建物外周部砕石敷き
- ・屋外階段を鉄骨階段に改修

4. 工期 契約日 から 令和8年1月19日

5. 一般事項について

(1)現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2)設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関する面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3)工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4)工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1)工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(2) 排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得ること。

(3) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。

(4) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。

(5) 周辺施設利用者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。

(6) 感染症対策は十分に講ずること。

(7) 各官公庁手続きについて、

事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

(8) 残土関係

~~・本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。~~

~~なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。~~

~~・建設発生土~~

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

~~距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。~~

(9) 本工事は、「週休2日工事実施要領」発注者指定型週休2日工事の対象である。

なお、週休2日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。

(工事発注時は4週8休(通期)を想定した設計単価で積算している)

(10) 既存トイレについては、12月の閉園までは来園者が安全に利用できるような対策を施して施工すること。

(11) 7.に記載する別途発注工事と工程等調整し工事を行うこと。

7. 本工事に関連する別途発注工事

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考
安曇野市	令和6年度(債務負担行為)安曇野市黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事	令和7年2月5日から 令和8年3月19日まで	造成工事	
安曇野市	令和6年度(債務負担行為)安曇野市黒沢洞合自然公園拡張整備造園工事 第一工区	令和7年2月13日から 令和8年3月19日まで	造園工事	
安曇野市	令和6年度(債務負担行為)安曇野市黒沢洞合自然公園拡張整備造園工事 第二工区	令和7年2月13日から 令和8年3月19日まで	造園工事	

・本工事に近接・競合する工事の予定

発注機関				

・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。

8. 安全対策関係

① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後14日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約

・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合

・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときには、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マフレストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きや

すい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

(1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

(2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

(1)石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、

図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシュラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コ

ンクリート主任技士等)が置かれ、良好な品質管理が行われている工場(全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等)から選定する。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録(工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報)
- ・工事打合わせ記録簿(当月分)
- ・工事写真(工事の進捗状況がわかるものを数枚)

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者(随意契約の場合にあっては、契約の相手方)は、建設業法(昭和24年法律第100号第20条の2第2項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定(随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定)から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

令和7年2月12日適用版

令和7年度 黒沢洞合自然公園 公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事

図面番号	図面名称	縮尺(A1/A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A1/A3)
A-01	特記仕様書(1)	NON	E-01	電気設備工事 特記仕様書	NON
A-02	特記仕様書(2)	NON	E-02	公衆用トイレ 電灯設備平面図	1: 50/1: 100
A-03	特記仕様書(3)	NON	E-03	公衆用トイレ コンセント設備平面図	1: 50/1: 100
A-04	特記仕様書(4)	NON	E-04	公衆用トイレ 太陽光発電設備機器図	NON
A-05	公衆用トイレ 配置図・案内図	1: 200/1: 400	E-05	公衆用トイレ 太陽光発電設備平面図	1: 50/1: 100
A-06	公衆用トイレ 仕上表・面積表	1: 100/1: 200			
A-07	公衆用トイレ 平面詳細図	1: 50/1: 100	M-01	機械設備工事 特記仕様書	NON
A-08	公衆用トイレ 屋根伏図・天井伏図	1: 50/1: 100	M-02	公衆用トイレ 機械設備平面図・機器仕様表・衛生器具表	1: 50/1: 100
A-09	公衆用トイレ 立面図	1: 50/1: 100			
A-10	公衆用トイレ 矩計図	1: 30/1: 60	R-01	既存トイレ 配置図・仮設計画図	1: 250/1: 500
A-11	公衆用トイレ 展開図	1: 50/1: 100	R-02	既存トイレ 平面図・天井伏図・屋根伏図	1: 50/1: 100
A-12	公衆用トイレ 部分詳細図(1)	1: 10/1: 20 1: 5/1: 10	R-03	既存トイレ 立面図	1: 50/1: 100
A-13	公衆用トイレ 部分詳細図(2)	NON	R-04	既存トイレ 断面図・階段詳細図	1: 50/1: 100
A-14	公衆用トイレ 建具伏図・建具表	1: 50/1: 100			
A-15	公衆用トイレ 床伏図・土台伏図	1: 50/1: 100			
A-16	公衆用トイレ 梁伏図・小屋伏図	1: 50/1: 100			
A-17	公衆用トイレ 基礎詳細図	1: 50/1: 100 1: 30/1: 60			
A-18	公衆用トイレ 壁量計算表	NON			
A-19	公衆用トイレ 仮設計画図	1: 200/1: 400			
A-20	公衆用トイレ 敷地求積図	1: 100/1: 200			

安曇野市

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1. 建築用 コンクリートブロック (10.2.2)	補強コンクリートブロック造 ※空洞ブロック16 空洞ブロック16# (8.3.2) 機壁及び扉 ※標仕8.3.1及び下表による 適用箇所 厚さ(mm) ・間仕切壁 ・地下二重壁 ・外壁 ・ ・扉 高さ 2m以下 ・120 2mを越える ・150 ・衛生配管用裏積みブロック ・100
	2. ALCパネル (8.4.2~8.4.6)(表8.4.2)(表8.4.3)	種類 単位荷重(N/m ²) 厚さ(mm) 取付工法(種別) ・外壁パネル ・1180 ・1960 ※100 ・A ・B ・C ・間仕切パネル ・100 ・B ・C ・D ・E ・屋根パネル ・980 ※100 ※F種(標仕8.4.5による) ・床パネル ・2350 ・3530 ※100 ・150 ・床パネルの耐火性能(・1時間 ・2時間) 外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合ならびにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm) ※20 (8.4.3) 伸縮目地の耐火目地材の充てん ・適用する (8.4.4)
3. 押出成形セメント板 (ECP)	(8.5.2~8.5.5)(表8.5.1)(表8.5.2)	施工箇所 表面形状 厚さ(mm) 幅(mm) 工法種別 ・外壁パネル ※F ・F-R ・D ・D-R ・T ・T-R ・A種 ・間仕切パネル ※F ・F-R ・D ・D-R ・T ・T-R ・B種 ・C種 耐火性能 ・有り() ・無し

9 防水工事	1. アスファルト防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3~表9.2.8)	種別 施工箇所 ※A-1~2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 床型特用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ アスファルト ※3種 ・4種 (9.2.2) 断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 (9.2.2) ただし、ノンフロンのものである。 立ち上りの保護 ・れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんがが形コナリドックとする。 ・乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板(厚さ15mm) (9.2.5) 製造所 評価名簿による
	2. 改質アスファルト シート防水 (9.3.2~9.3.4)(表9.3.1)	種別 ・AS-1 ・AS-2 厚さ() (9.3.2~9.3.4)(表9.3.1) 施工箇所
	3. 合成高分子系 M-Fリング防水 (9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)	種別 厚さ(mm) 施工箇所 仕上げ塗料塗り 使用分類 ・S-F1 ※1.2 ・ 非歩行 ・S-F2 ※2.0 ・ カラー ・S-M1 ※1.5 ・ ・S-M2 ※1.5 ・ ・S-M3 ※1.2 ・
	4. 塗膜防水 (9.5.2)(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)	種別 施工箇所 備考 ・X-1 仕上げ塗料塗り ・X-2 ・シルバー ・カラー ・Y-1 地下外壁防水 ・Y-2 Y-2工法の保護シート ※適用する ・適用しない X-1の脱気装置 ・設ける 材質() 設置数量(m ² 当たり1箇所) (1~4についての保証) 防水工事施工者及び請負者連名の保証書(10年)を提出すること。 シーリング (9.7.2)(表9.7.1) 下表以外は、標仕表9.7.1による。 施工箇所 シーリング材の種類(記号)

10 石工事	1. 天然石張り (10.2.1)	石の品質 ※2等品 ・1等品(施工箇所) 床用石材 ※1等品 ・2等品(施工箇所) 壁及びその他の石材 ※1等品 ・2等品(施工箇所) 石の種類・表面仕上げ (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2) 施工箇所 種類 産地・名称 厚さ(mm) 仕上げの種類
	2. テラゾ張り (10.2.1)(表10.2.2)	種石の種類 ※大理石 表面仕上げ ※本磨き
	3. 壁の石張り工法 (10.3.2)(10.3.3)(10.5.2)(10.5.3)	外壁石張り 工法 ・外壁湿式工法(※流し工法) ・乾式工法 石裏面処理 ※行わない ・行う(・小口共) 裏打ち処理 ※行わない ・行う ドレンパイプ ※ステンレス SUS304 内壁石張り 工法 ・内壁空積工法(※あと施工アンカー横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法) ・乾式工法 石裏面処理 ※行わない ・行う(・小口共) 裏打ち処理 ※行わない ・行う

11 タイル工事	4. 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.1.5)(10.1.5)	床石張りの裏面処理 ※行わない ・行う 階段石張りの裏面処理 ※行わない ・行う 壁内のフックス掛け ※行う ・行わない
	1. 陶磁器質タイル (11.2.2)	タイルの種類 施工箇所 形状寸法(mm) きじ 釉薬 設物 色 備考 磁器 せつ器 陶器 無釉 施釉 有 無 標準 特注 役物: 標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う(※外壁タイル)
	2. 張り付け用材料 (11.2.3)	既製鋼合モルタル 保水率(%) 単位容積質量(kg/l) 接着強度(N/mm ²) 長き変化率(%) 曲げ強さ(N/mm ²) 70.0以上 1.80程度 0.60以上 0.40以上 0.20以下 4.0以上 接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・F☆☆☆
	3. 壁タイル張りの工法 (11.3.3)(表11.3.1)	内装タイル ※壁タイル接着剤張り ・改良積上げ張り 外装タイル ・密着張り ・マスク張り 躯体表面の処理 ・行わない ※行う ※MCC工法(6章コンクリート工事による)又は高圧水洗(δ'917-917)下地工法 施工手順 ※図示 下地モルタル塗り ※標仕15.2.2~15.2.5による タイルの試験張り ※行わない ・行う(※外壁タイル)
4. 陶磁器質タイル 型枠先行工法 (11.2.2)	種別 適用タイル タイル型枠先付け面のせき板 ・タイルシート法 ・小口タイル ※標仕6.9.3[材料](b) (2)または金属製型枠 ・目地樹工法 ・二丁掛タイル 先付け用パネル ・積木法 大型タイル	

12 木工事	①木材の品質 (12.2.1)	※標仕12.2.11による ○産地木材認証製品又は同等品(長野県産材・安曇野産材) ・保存処理木材を適用する箇所()
	②樹種 (12.2.1)	※標仕12.2.23による ○図示 ・代用樹種を適用しない箇所()
	③集成材等 (12.2.1)	品名 規格・品質 芯材の種類 化粧単板の樹種 ※集成材 ※2種 ※とも・なら・しおじ ・構造用集成材 ※1等 ・2等 ・造作集成材 ※1等 ・2等 ・化粧ばり造作用集成材 ※1等 ・2等
	④接着剤 (12.2.1)	ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種 接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性とする。 ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種
	⑤防霉・防蟻処理 (12.3.1)	行う箇所(土台) 防霉処理 ※行う(※標仕12.2.8(0)による ・図示) ・行わない 防蟻処理 ・行う(※図示) ・行わない 防霉、防蟻処理の種類、品質 表面処理用木材保存剤(防霉・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。 (クローブリホスを含むものを添加しないこと)
	6. 防虫処理 (12.3.2)	行う箇所()
	7. 床板張り (12.6.1)(表12.6.1)	フローリング及び縁甲板張り床 下張り用床板 ・無し ※合板張り ・有り ※ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種 ・板張り ※単層フローリング ホルムアルデヒド放散量の等級 (標仕19.5.2による) ※規制対象外 ・第三種 ・縁甲板 ※ひのき
⑥建築材料 (13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)	クロルピリホスをあらかじめ添加したものを使用しないこと。ただし、発散するおそれがないものとして、国土交通大臣が認める材料についてはこの限りでない。	

13 屋根及びとい工事	①長尺金属屋根き (13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)	屋根葺き形式 材種 塗装種別 板厚(mm) ・瓦葺き(心木なし) ※塗装溶融55%7%ニカド-亜鉛合金めっき鋼板 ※フッ素 ※0.4 ○立はね葺(成平・あり掛) 及び鋼帯 (GGLCOR-20-AZ150) ・図示 ・0.5 ・横葺(定尺・長尺) ・
	2. 折板葺 (13.3.2)(13.3.3)	形式 ※重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形 形状(mm) 山高() 山ピッチ() 板厚 ※0.6 ・0.8 材料 ※塗装溶融55%7%ニカド-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (GGLCOR-20-AZ150) (規格等) ・ 軒先面戸板 ※有り ・無し 断熱材 ※有り(種別) 厚さ: (mm) ・無し 耐火性能 ※30分耐火 ・無し
	(1及び2についての保証)	○長野県産材工業組合認定の施工により施工したものは同組合及び請負者連名の保証書(10年)を提出すること。 ○上記組合認定以外の施工により施工したものはメーカー、屋根施工業者及び請負者連名の保証書(10年)を提出すること。
3. とい (13.5.2)(表13.5.1)	材種 ※配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 (13.5.2)(表13.5.1) ・ステンレス鋼板 ・表面処理鋼板 (13.5.3)(表13.5.4) 鋼管製といの防露 ※標仕13.5.5による 防露材のホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種 挿入口 ※有り(図示) ・無し	

14 金属工事	1. 2F以上の表面仕上げ (14.2.1)	種類 施工箇所 ※H/L程度 下記以外の見え掛り全て(ステンレスタラップは除く) ・No.2B程度 ・鏡面仕上げ ・
	2. 7F以上の仕上げ面 の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)	種別 施工箇所 ・B-1種(無着色) ・B-2種(ブラウン系・ブラック・ステンカラー)
	3. 鉄の垂鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)	表面処理方法 種別 施工箇所 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種
	4. 軽鋼鉄天井下地 (14.4.4)	天井のふところが屋内1.5m以上、屋外が1.0m以上の場合の補強 ※標仕14.4.4(n)による補強 ・図示 耐震性を考慮した補強 ・図示 屋外の軒天井及びビロテ天井等における耐風圧性を考慮した補強 ・図示
	5. 金属成形板張り (14.6.2)	形状 製法 材種 寸法(mm) 厚(mm) 表面処理 ・スバンドレル形 押出し ※アルミニウム製 ・ロール ・ ・パネル形 ※プレス ・ 伸縮調整継ぎ ※設けない ・設ける(施工箇所は図示)
	6. 7F以上の架設木 (14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1)	種類 呼称肉厚(mm) 表面処理 固定間隔 備考 ・250形 1.6以上 ※A-1又は B-1種 隅部及び突出部等 ・300形 1.8以上 隅は品質計面で は本体製造所の仕様による。 ・350形 2.0以上 ・B-2種 定めたもの ・100形 ()
	7. 手すり及びタラップ (14.2.1)(14.8.2)(表14.2.2)	種類 材料の種別 表面処理 ・手すり ※ステンレス SUS304 ※H/L程度 ・鏡面程度 ・鉄 垂鉛めっき 外部 ※C種 内部 ※B種 ・タラップ ※ステンレス SUS304 ※研磨無し ・鉄 垂鉛めっき 内外部 ※C種

15 左官工事	①モルタル塗り材料 (15.2.2)	吸水調整材 (15.2.2) 全固形率(%) 吸水量(g) 接着強度(N/mm ²) 界面破壊率(%) 表示値 ±1.0 30分以内 0.98以上 50以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 防水剤(防水モルタル塗りの混入剤) 防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 (JIS A 1404による試験) 混合割合 凝結時間 曲げ及び圧縮強度比 吸水比 透水比 乾状重量の5% JIS R5201の試験 8)において 70%以下 95%以下 80%以下 以下 始発 1時間以上 最終 10時間以内 294.0kPa/h 安全性 膨張性のひび割れおよびそりがないこと。JIS R5201の試験9 下表以外は、標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による (表6.2.5)(15.4.1)(15.4.2) 施工箇所 平坦差(mm) 備考 7F-7F以上(パネル構法)範囲 1mにつき10以下 塗料塗りの場合も含む 7F-7F以上(溝構法)範囲 3mにつき7以下
	②床コンクリートの直直し 仕上げ (15.6.2)(表15.6.1)	種類 呼び名 仕上げの形状等 ・薄付け仕上げ塗材 ・可とう形外装塗材S1 ・外装塗材E ・内装塗材E ・可とう形外装塗材E ・防水形外装塗材E ・外装塗材S ・内装塗材C ・内装塗材L ・内装塗材S1 ・内装塗材W ・複層仕上げ塗材 ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材S1 ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS ・軽量骨材仕上げ塗材 ・吹付け軽量塗材 ・こて用軽量塗材 建築内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種 防火材料の指定 ※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。 JIS A 6909(建築用仕上げ材)により、製造所において指定された色及びつや等に調査し、有効期間を経過したものは使用しない。
	③遮熱材 (15.2.2)	遮熱材の種類 遮熱率(%) ・遮熱材A 90%以上 ・遮熱材B 85%以上 ・遮熱材C 80%以上
	④断熱材 (15.2.2)	断熱材の種類 断熱率(%) ・断熱材A 0.04以下 ・断熱材B 0.05以下 ・断熱材C 0.06以下

16 建具工事	1. 見本の製作等 (16.1.4)	・特殊な建具の仮組(建具番号:)
	2. 防犯建物部品 (16.1.6)	・適用あり
	①7F以上の製建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)	外部に面する建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1) 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工箇所 ・A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70 ※図示 ・B種 S-5 ・ ・C種 S-6 A-4 W-5 100 表面処理 ※B-1種 ○B-2種(※アラカ素 ○アラカ素) (表14.2.1) 防音ドアセット ・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() 断熱ドアセット ・断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級() 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級() 屋内建具 表面処理 ※C-1種又はB-1種 (表14.2.1) ・C-2種又はB-2種(・アラカ素 ・アラカ素) (表14.2.1)
	②網戸 (16.2.3)	防虫網 網の種類 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・アラカ素(SUS316) ○合成樹脂製 (16.2.3) 形式 ※外部可動式 ・固定式
	③鋼製建具 (16.4.2)(表16.4.1)	簡易気密扉の簡易気密ドアセット性能値 (16.4.2)(表16.4.1) ※適用する(適用箇所は建具表による) ・適用しない 耐風圧性 (16.4.2)(表16.2.1) ※適用する(適用箇所は建具表による) ・適用しない 特定防火設備の戸 ・適用する 標準型鋼製建具 ・適用する (16.4.6)
	④鋼製軽量建具 (16.5.2)	簡易気密扉の簡易気密ドアセット性能値 (16.5.2) ※適用する(適用箇所は建具表による) ・適用しない 標準型鋼製軽量建具 ・適用する (16.5.6)
	7. アラカ素製建具 (16.6.2)	簡易気密扉の簡易気密ドアセット性能値 (16.6.2) ※適用する(適用箇所は建具表による) ・適用しない 耐風圧性 (16.6.2) ※適用する(適用箇所は建具表による) ・適用しない 表面仕上げ ※H/L仕上げ ・鏡面仕上げ (16.6.4) 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強あり) (16.6.5) 特定防火設備の戸 ・適用する (表16.6.1)
	⑤木製建具 (16.7.2)	かまち戸の樹種 かまち(図示) 鏡板(図示) (16.7.2) ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度(押入等の裏面は除く) ・鳥の子 (表16.7.3) 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量の等級 (16.7.2) ※規制対象外 ・第三種
	⑥建具用金物 (16.8.4)	マスターキー ※製作する ・製作しない (16.8.4) 建築用金物 (16.4.6)(16.5.6) 錠前類は、シリンダー錠錠(レバーハンドル)とする なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける (16.8.2) 吊り金物 ・丁番(内部建具については、軸を軸芯としてもよい) ・ビッドベジ
	10. 自動ドア開閉装置 (16.9.2)(16.9.3)(表16.9.1~16.9.3)	開閉方法 センサの種類 ※スライディングドア 種類 ・SSLD-1 ・SSLD-2 ※熱線スイッチ ・マットスイッチ ・電子マットスイッチ ・DSL-1 ・DSL-2 ・光電スイッチ ・タッチスイッチ ・音波スイッチ ・スイングドア ・ペダルスイッチ ・ペダルスイッチ ・SMD-1 ・SMD-2 ※凍結防止措置(適用箇所は建具表による)
⑦自閉式上り引戸装置 (16.10.2)(16.10.3)	材料 ※SUS304アルミニウム製等防錆性能を有するもの (16.10.2)(16.10.3) ・製造所標準仕様による 性能等 ※標仕16.9.11による ・製造所標準仕様による	
12. 重量シャッター (16.11.2)	シャッターの種類 ・一般重量シャッター 耐風圧性能() N/m ² ・外壁用防火シャッター 耐風圧性能() N/m ² ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター	
13. 軽量シャッター (16.12.2)(表16.12.1)	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) (16.12.2)(表16.12.1) 危険防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) ・シャッターの二段降下方式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない (16.11.2)	
14. オートハンドドア (16.13.2)(16.13.3)	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) (16.12.2)(表16.12.1) 材質 ※JIS G3312(塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)又はJIS G3318 (塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯) (16.12.3) 形状 ※レール付形 ・レール付形 (16.12.4) オートハンド等 ※鋼板製 ・アラカ素製SUS304(厚さ1.0mm) (表16.12.2) 耐風圧性能 () N/m ² シャッター材料 開閉方式 収納形式 オートハンド ※アラカ素製 開閉方式 ※アラカ素製 収納形式 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・7F以上の引戸 手動式 ・オートハンド形 ※アラカ素製鋼板(SUS304) ・アラカ素製引戸 電動式 ・レール付形 ・アラカ素製引戸 電動式 ・レール付形 耐風圧性能 () N/m ²	

安曇野市 総務部 財産管理課		検印欄
工事名	令和7年度 黒沢洞合自然公園公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事	年月日
図面名称	特記仕様書(2)	図面番号
		A-02

16 建築工事
16.1 ガラス
16.2 ガラス留め材及び溝
16.3 ガラス用フィルム

17 カーテンウォール工事
17.1 仕様・材料

18 塗装工事
18.1 材料
18.2 塗装業者
18.3 塗地ごしらえ
18.4 塗料

19 内装工事
19.1 接着剤
19.2 ビニルシート張り
19.3 ビニル床タイル張り
19.4 帯電防止床タイル張り
19.5 ビニル床タイル張り
19.6 帯電防止床タイル張り
19.7 畳床
19.8 畳床敷き

シーリング材料
(9.7.2)(17.3.2)(表9.7.1)
(9.7.2)(17.3.2)(表9.7.1)

18.1 材料
18.2 塗装業者
18.3 塗地ごしらえ
18.4 塗料

19.1 接着剤
19.2 ビニルシート張り
19.3 ビニル床タイル張り
19.4 帯電防止床タイル張り
19.5 ビニル床タイル張り
19.6 帯電防止床タイル張り
19.7 畳床
19.8 畳床敷き

7. 合成樹脂塗料
7.1 タフフレッドカーベット
7.2 タイルカーベット

8. 70-70g 張り
9. 裏敷き
10. ポリステレンフォーム床下地材
11. せっこうボードその他ボード張り

12. 吸音材
13. 壁紙張り

14. 断熱材
15. 浴室天井
16. 断熱材
17. 断熱材

14. 断熱材
15. 浴室天井
16. 断熱材
17. 断熱材

20 ユニット及びその他工事
20.1 フリーアクセスフロア
20.2 移動間仕切
20.3 トイレブース

20.4 階段止め
20.5 階段手すり
20.6 黒板及びホワイトボード
20.7 黒板及びホワイトボード
20.8 黒板及びホワイトボード
20.9 鏡
20.10 表示

安曇野市 総務部 財産管理課
工事名 令和7年度 黒沢洞台自然公園公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事
図面名称 特記仕様書(3)

20. ユニット及びその他工事

10. 煙突ライティング

11. ブラインド

12. ロールスクリーン

13. カーテン

14. カーテンレール

15. ブラインドボックス及びカーテンボックス

16. 耐震スリット

17. 止水板

18. 天井点検口

19. 床点検口

20. 鋼製書架及び物品棚

21. 鍵箱

22. 靴ふきマット

23. 流し台ユニット

24. 屋外掲示板

25. 洗面カウンター

26. 防煙垂れ壁

27. 誘導用及び注意喚起用床材

28. 旗竿

29. 旗竿受金物

30. フェンス

21. 排水工事

1. 排水管

2. 排水斜及びふた

3. 浸透管及び浸透槽

4. その他の材料

22. 舗装工事

1. 盛土に用いる材料

2. 遮断層及び凍上抑制層の材料

3. 路床安定処理

4. 路床土の支持力比試験

5. 路床締固め度の試験

6. 砂の粒度試験

7. 路盤材料

8. 路盤の締固め度の試験

9. アスファルト舗装

10. コンクリート舗装

11. 透水性

12. 排水性

13. ブロック系舗装

14. 路面標示用塗料

23. 植栽工事及び屋上緑化工事

1. 樹木の植栽基礎整備

2. 植込み用土

3. 土壌改良材

4. 支柱材

5. 幹巻き用材料

6. 芝張り

7. 結補償等

8. 屋上緑化

24. 工事現場の環境改善

1. 工事現場の環境改善について

2. 産業廃棄物の取扱いについて

3. 再生資源利用促進計画等について

4. ISO 14001関係

5. 過積載の禁止

25. その他

1. 保険等

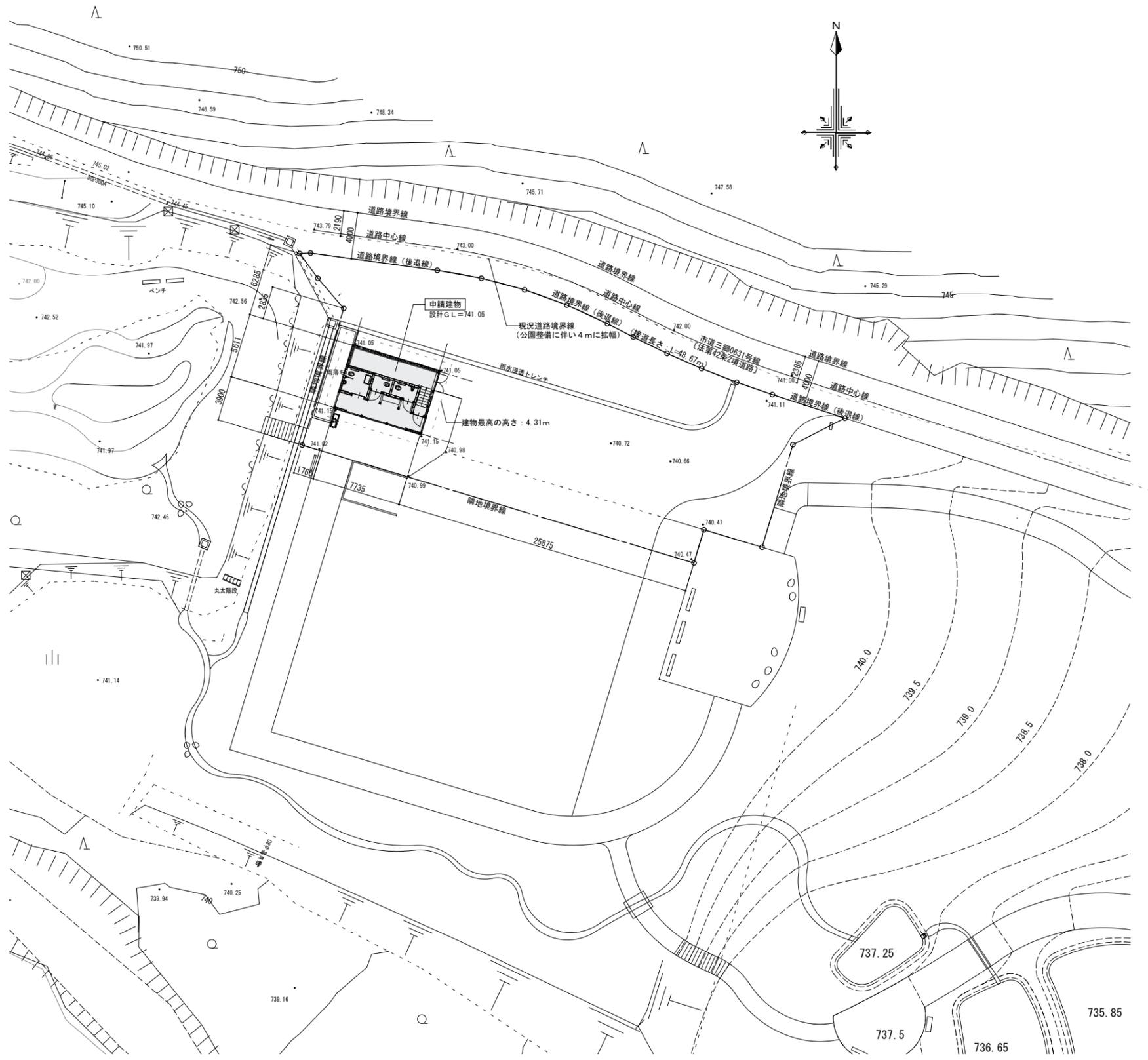
2. その他

3. 不具合の確認

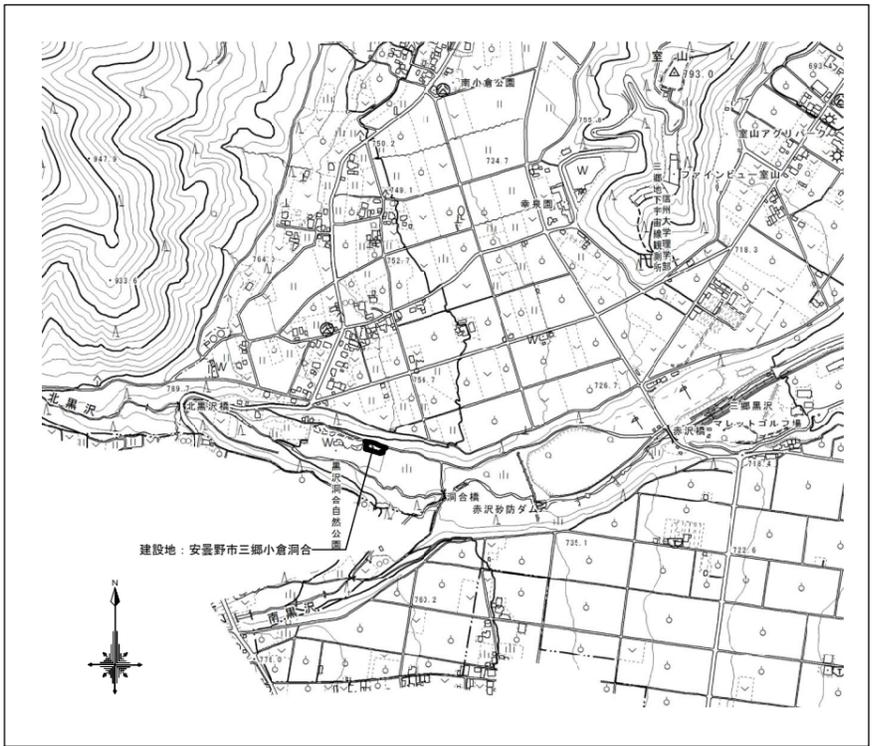
安曇野市 総務部 財産管理課

工事名 令和7年度 黒沢谷自然公園公園用トイレ建設・既存トイレ修繕工事

図面名称 特記仕様書(4)



配置図



案内図

面積表

敷地面積	701.89 m ²					
	(m ²)					
申請建物	建物名	構造	階数	建築面積	延べ床面積	1階床面積
	トイレ棟	木造	1	43.40	43.40	43.40

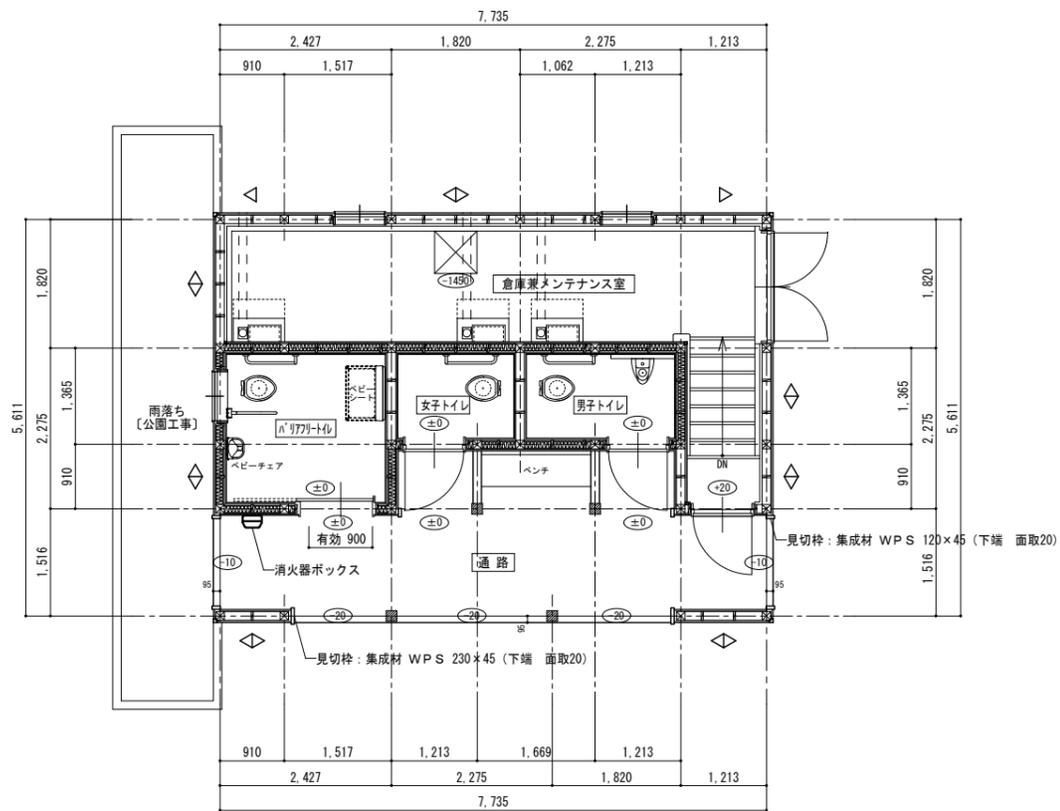
工事名称 : 令和7年度 黒沢洞合自然公園公衆トイレ建設・既存トイレ補修工事
 図面名称 : 公衆用トイレ 配置図・案内図
 縮尺 : 1:200 (A3=1:400) 図面番号 : A-05
 DATE :

《凡例》

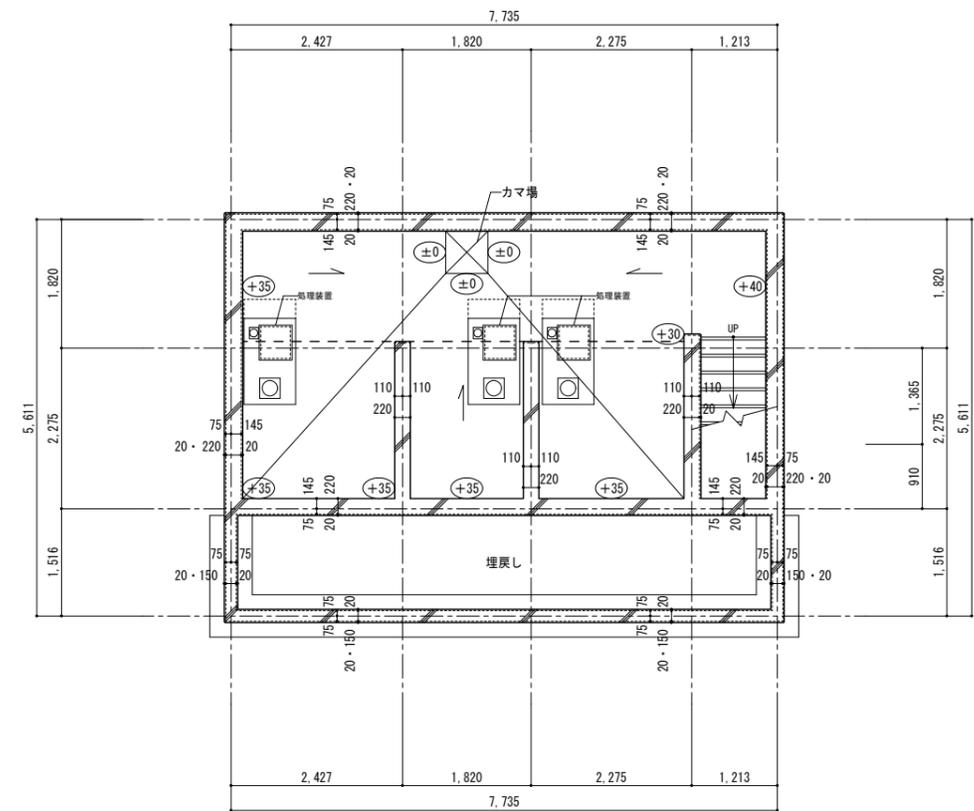
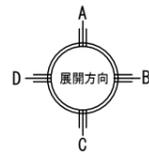
□	柱 : 120×120
■	間柱 : 120×30 @455
◁ [±6]	筋カイ : 45×90 シングル位置を示す
◁ [±6]	筋カイ : 45×90 ダブル(たすき掛け)位置を示す
■	柱 : 150×150 (化粧材)

《凡例》

⊠	カメラ場 : 600×600×H450
→	水勾配 (1/100)



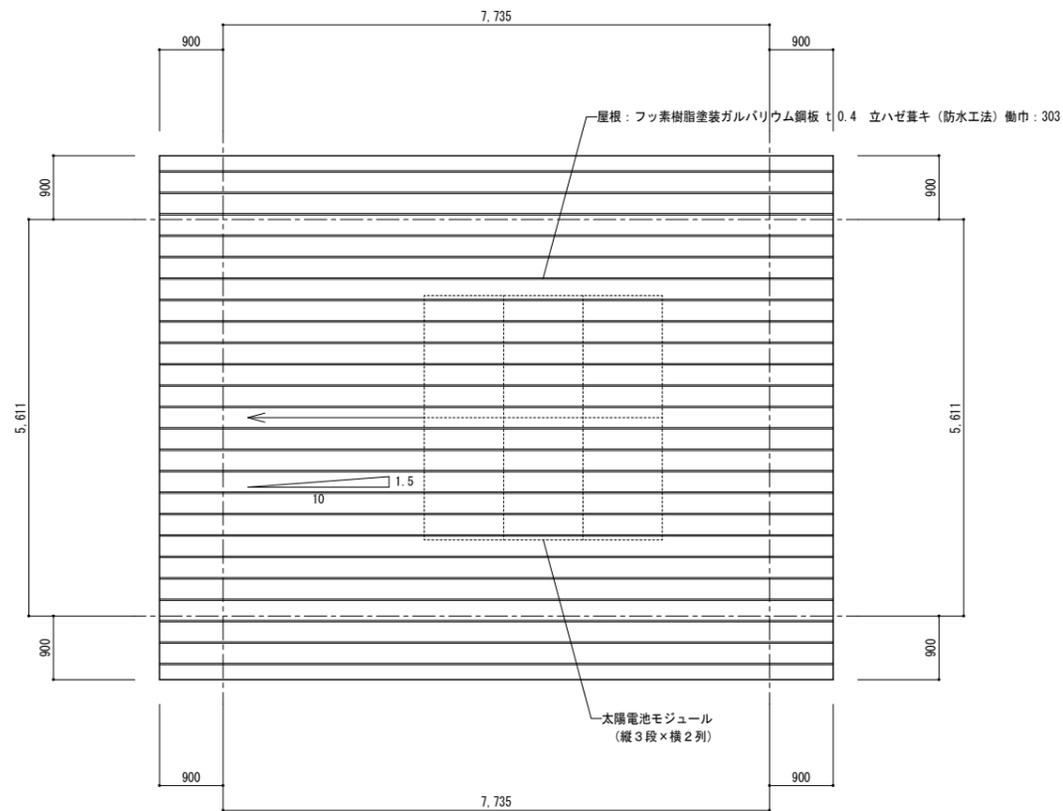
平面詳細図 S=1:50



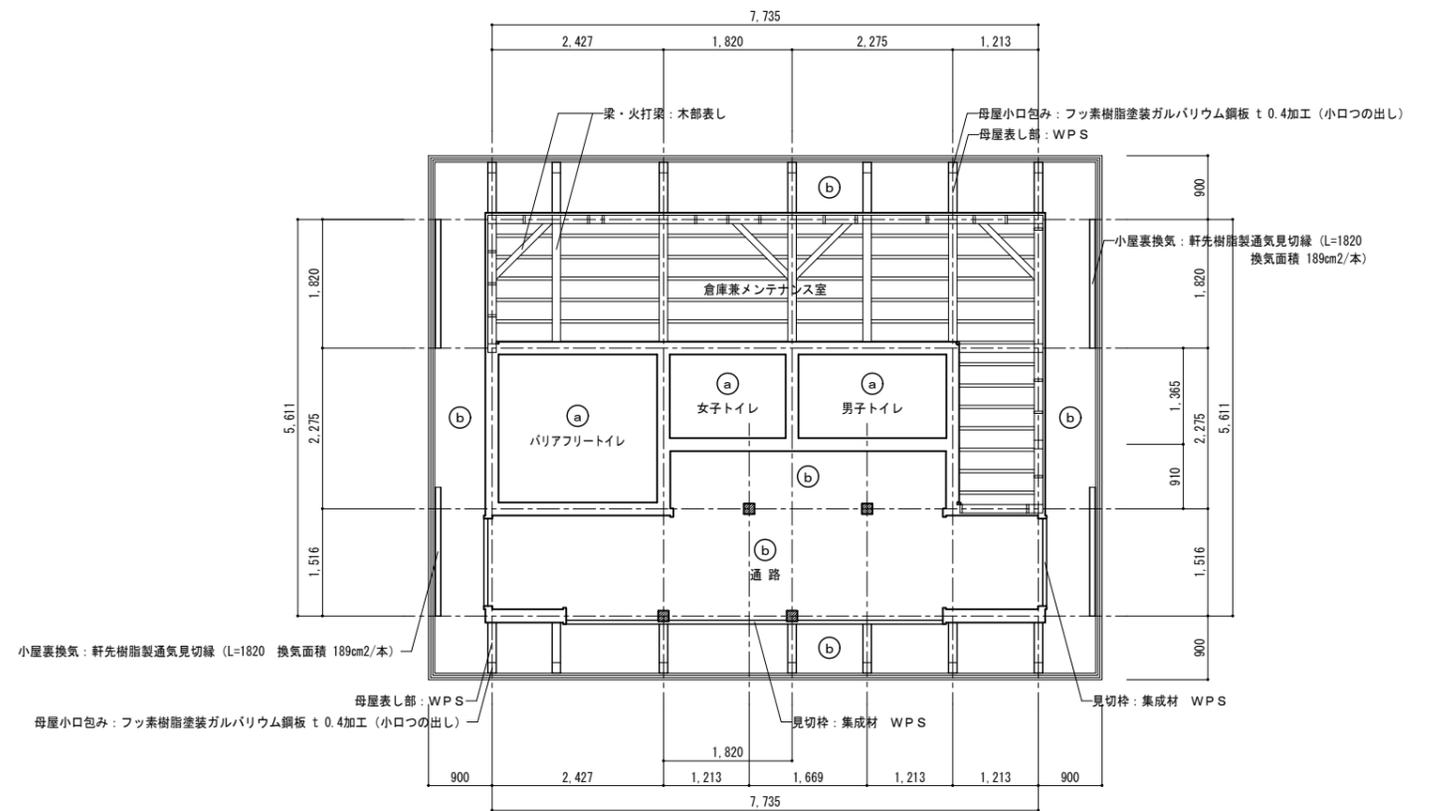
下段レベル平面詳細図 S=1:50

《天井仕上凡例》

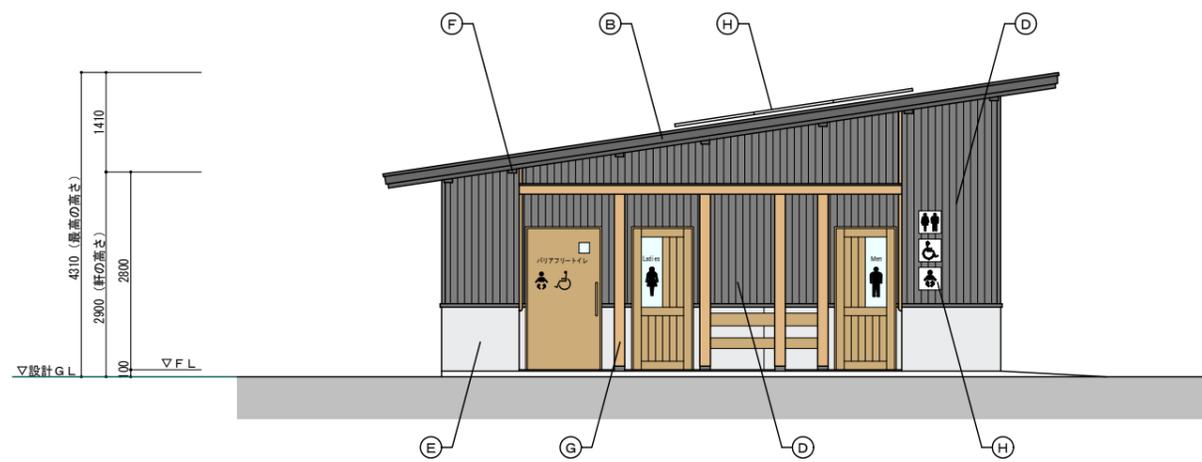
(a)	木野縁組下地 シナ合板 t 9張り WPS (屋内仕様)
(b)	木野縁組下地 合板 t 9+カラ松羽目板 t 12 WPS



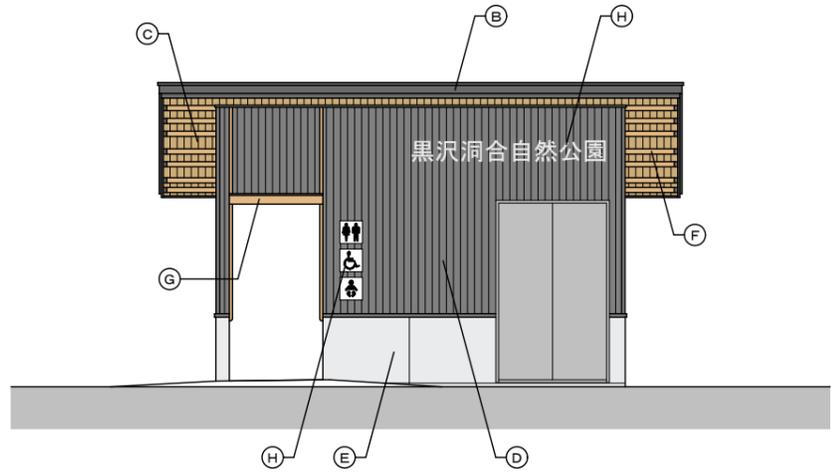
屋根伏図 S=1:50



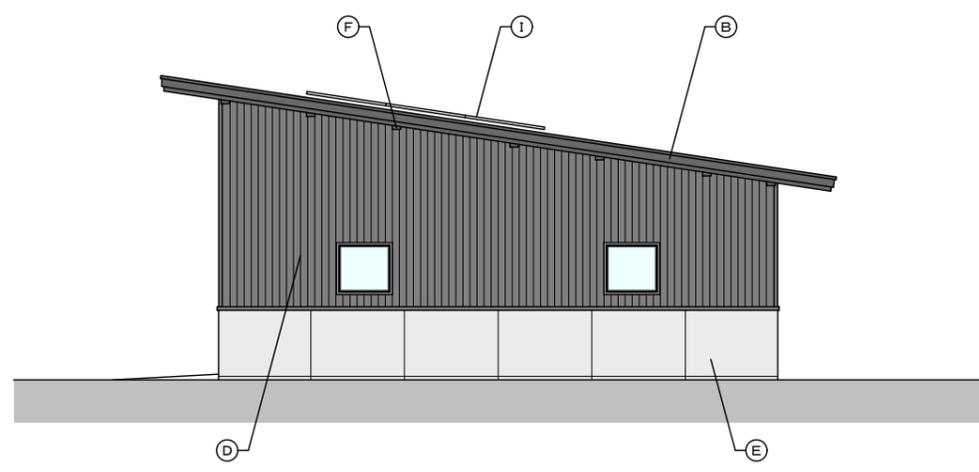
天井伏図 S=1:50



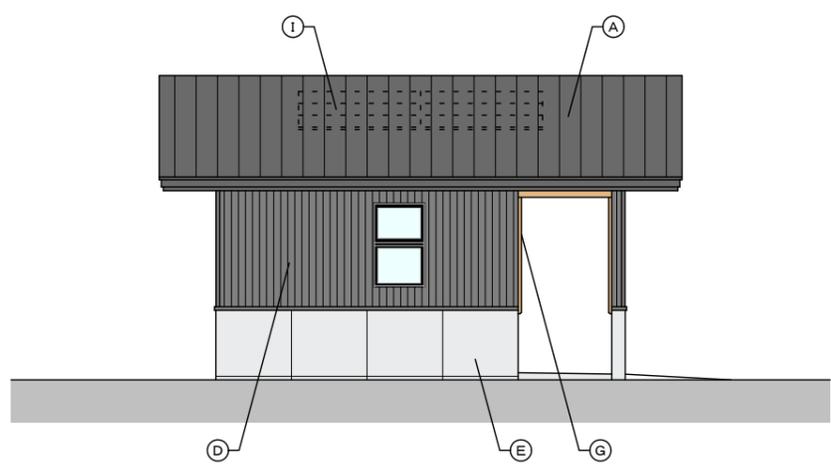
南側立面図



東側立面図



北側立面図

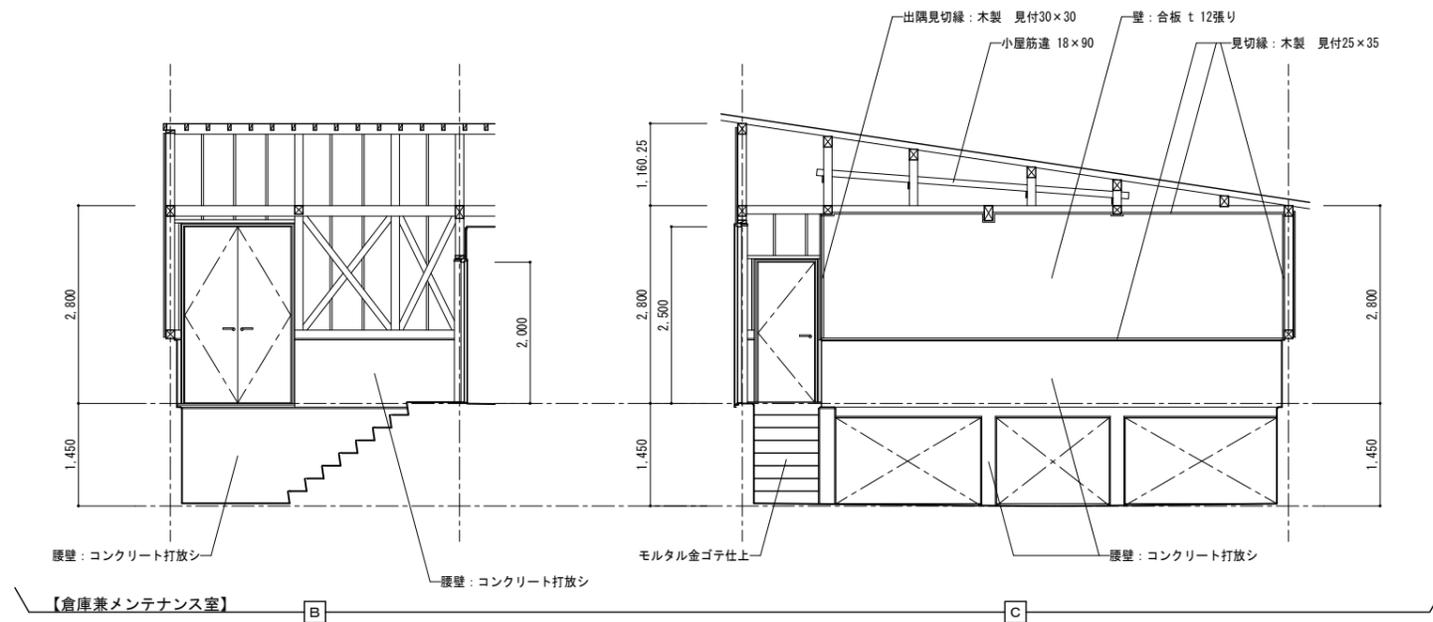
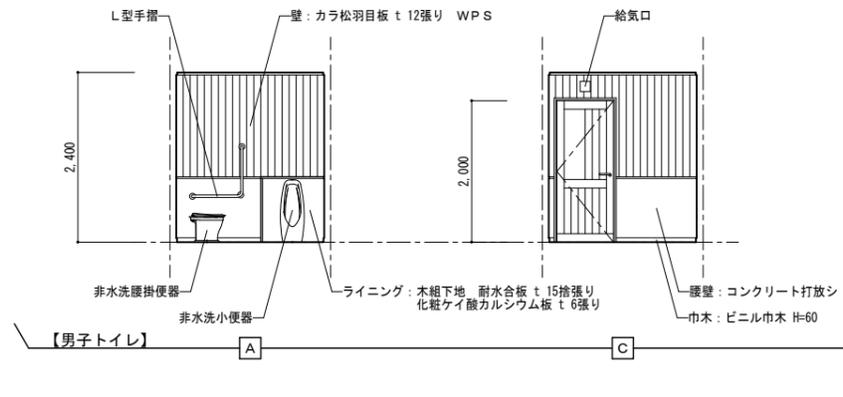
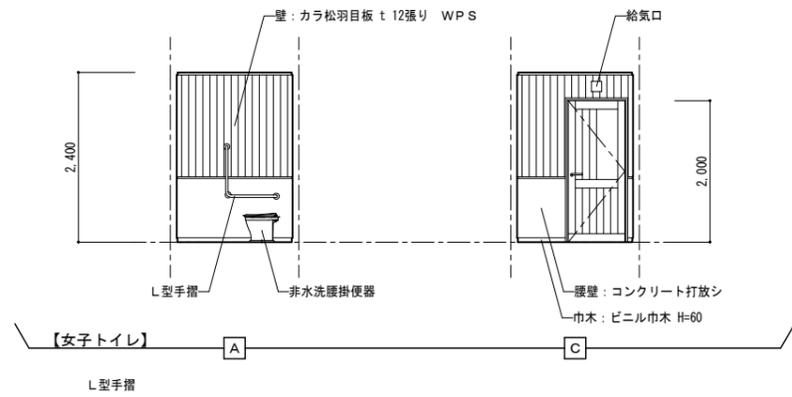
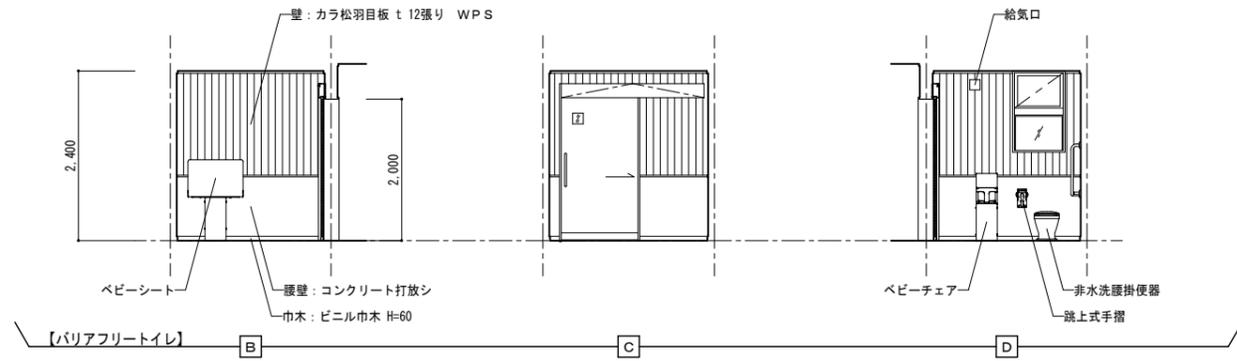


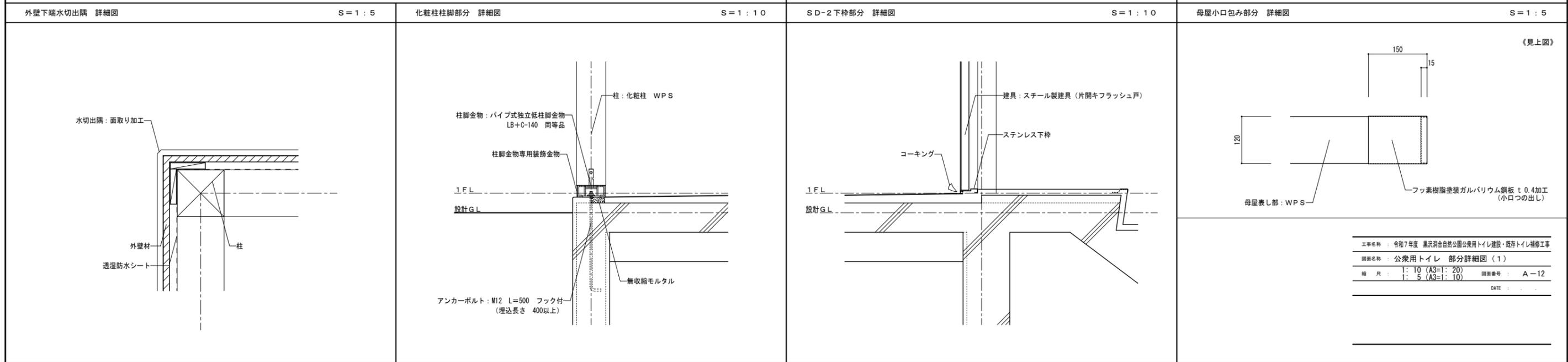
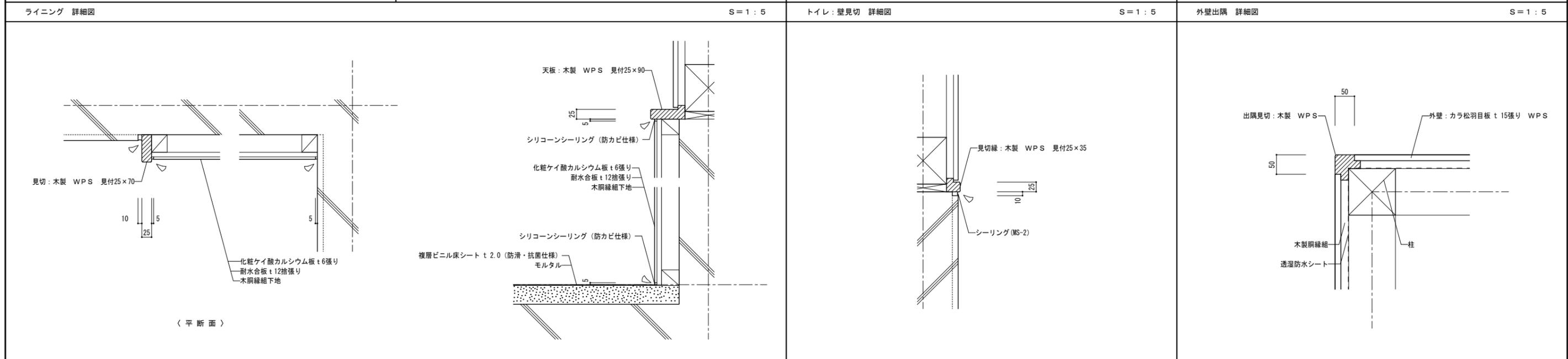
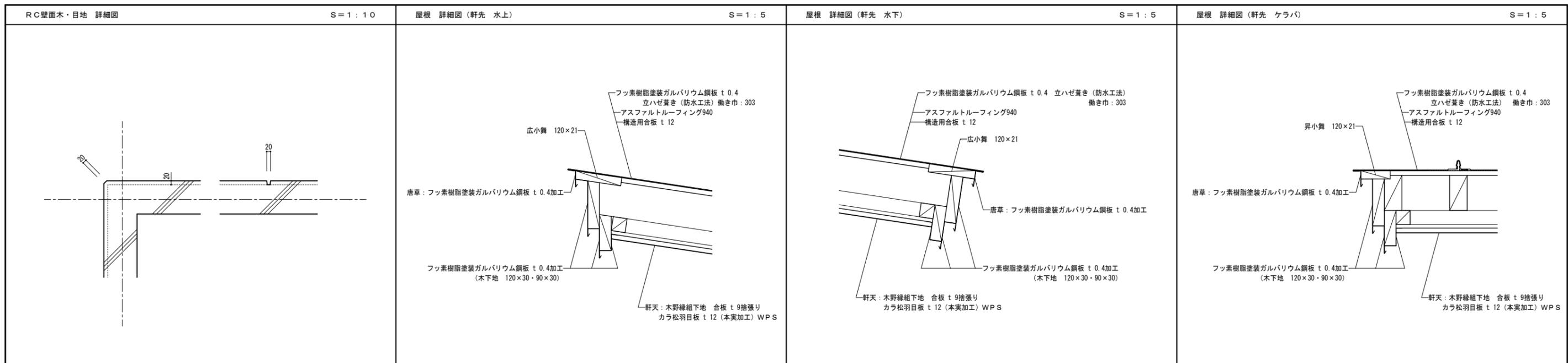
西側立面図

《外部仕上凡例》

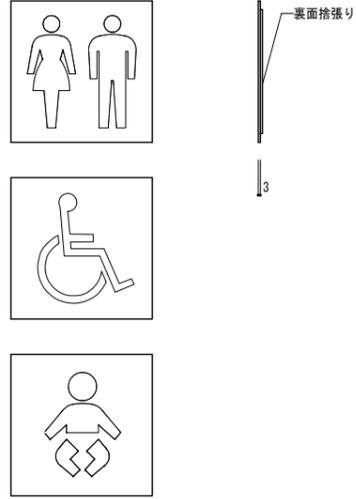
(A)	屋根：フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板 t 0.4 立ハゼ葺キ（防水工法） 巾巾：303
(B)	破風：フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板 t 0.4加工（唐草、ケラバ 同材）
(C)	軒天：合板 t 9+カラ松羽目板 t 12 WPS
(D)	外壁：カラ松羽目板 t 15張り WPS（出隅見切：50×50 WPS）
(E)	腰壁：コンクリート打放シ 撥水材塗布（化粧目地切）
(F)	母屋：WPS・小口包み：フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板 t 0.4加工（小口つ出し）
(G)	木部：WPS
(H)	サイン表示（部分詳細図 参照）
(I)	太陽電池ジュール

工事名称：令和7年度 黒沢洞合自然公園公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事
 図面名称：公衆用トイレ 立面図
 縮尺：1：50 (A3=1:100) 図面番号：A-09
 DATE： . . .

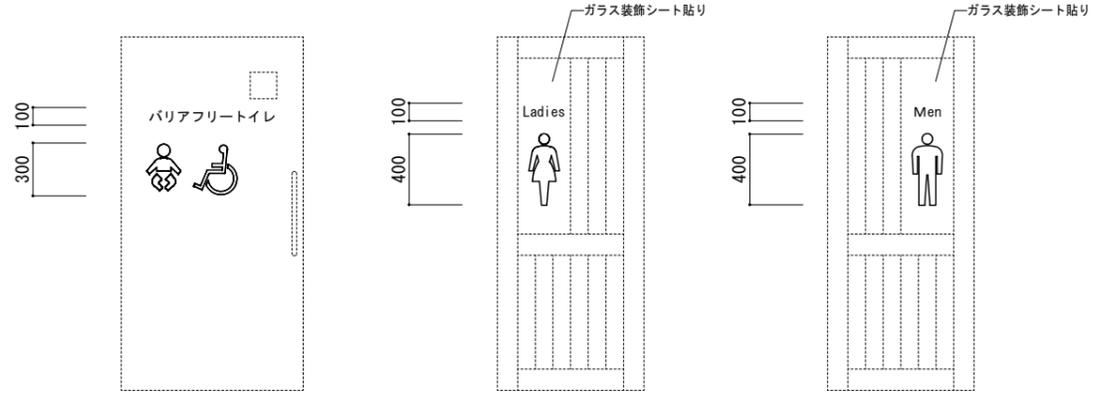




サイン仕様		※絵文字柄は参考とする。
壁面取付	300×300	各1ヶ所
	アルミ複合板 t3 (裏面捨張り t3)	
	インクジェットシート貼り (小口巻込み)	
	※ ベース色：白、マーク：カラー	



サイン仕様		※絵文字柄は参考とする。
建具取付	図示	各1ヶ所
	カッティングシート貼り (黒)	
	※B2・B3のみ	
	ベース：ガラス装飾シート貼り	

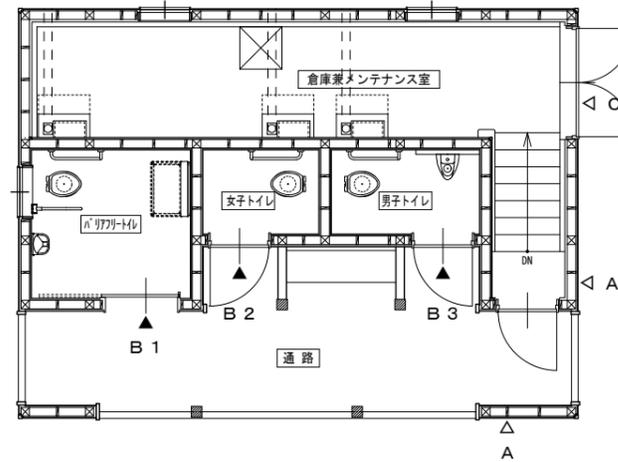


【バリアフリートイレ：B1】

【女子トイレ：B2】

【男子トイレ：B3】

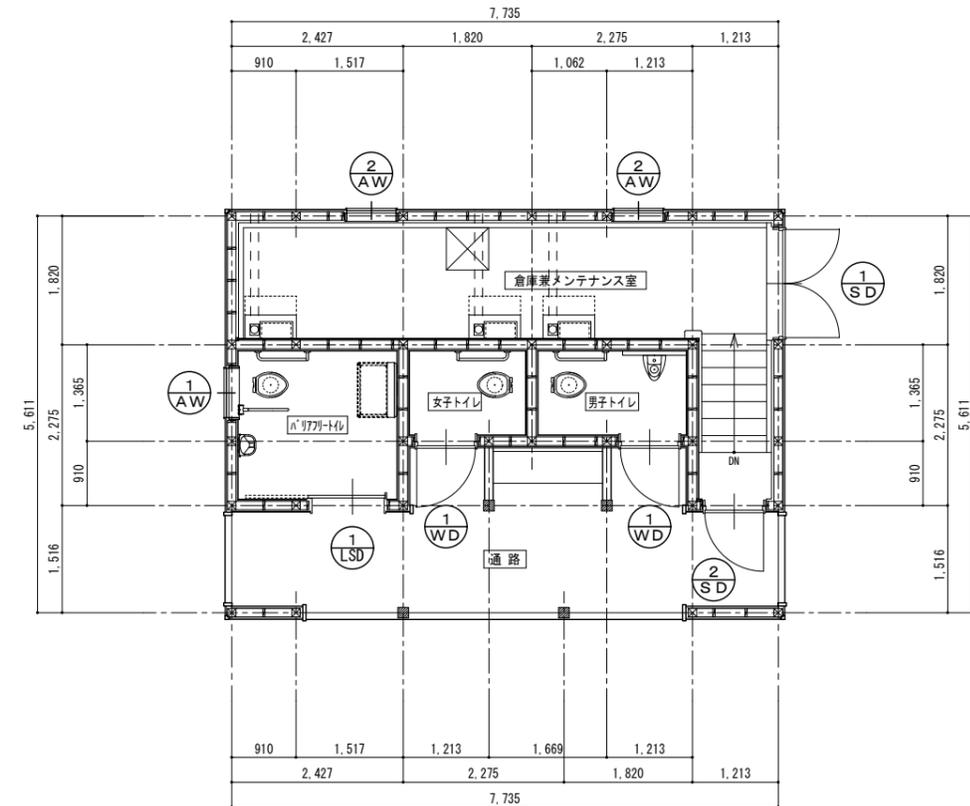
サイン仕様		※絵文字柄は参考とする。
外壁取付	図示	各1ヶ所
	SUS製箱文字 焼付塗装 300×300	



サインキープラン

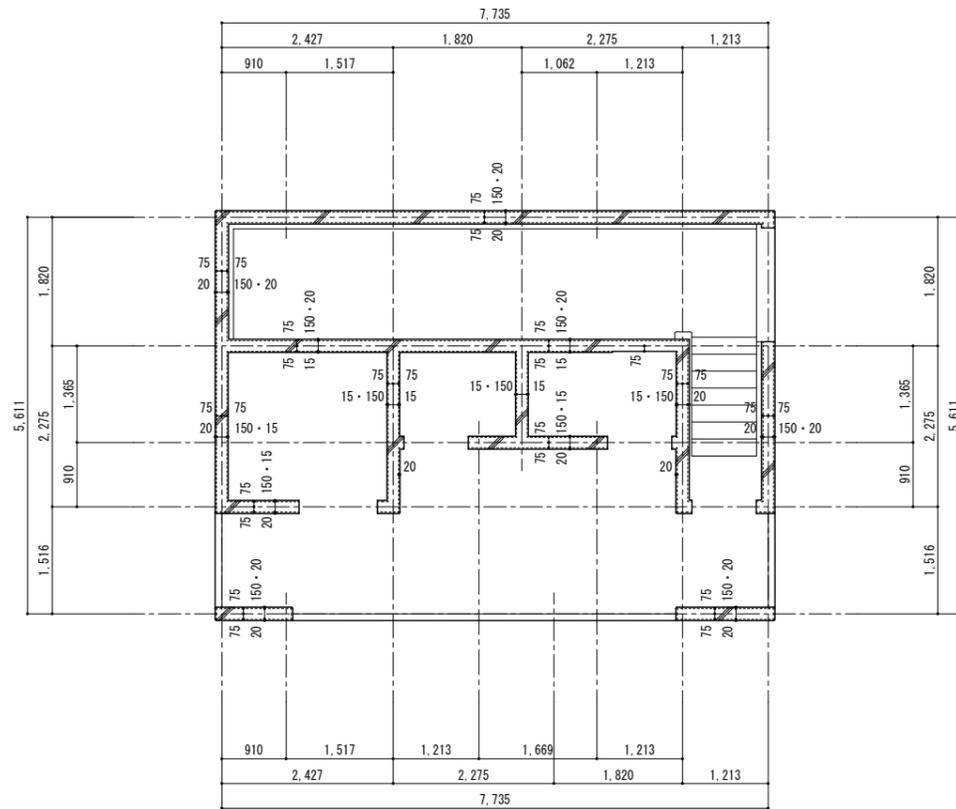
消防法無窓階の検討	
必要面積	43.40 × 1/30 = 1.45
有効面積	WD-1 0.80 × 2.00 × 2 = 3.20
	LSD-1 0.90 × 2.00 × 1 = 1.80
判定	1.45 < 6.10 OK

記号	①AW	②AW	
名称	バリアフリートイレ	倉庫兼メンテナンス室	
図面			
種類	スベリ出し窓+ハメ殺し窓	高所用スベリ出し窓	
用途	住宅用	住宅用	
口数	1	2	
見込	86	86	
材種	アルミ(複合) カラー	アルミ カラー	
金物	カムラッチハンドル・スベリ出しアーム 他付属金物一式	高所用オペレーター・樹脂アングル 他付属金物一式	
硝子	複層ガラス(型板t4+A6+フロートt3)	複層ガラス(型板t4+A6+フロートt3)	
備考	網戸・FIX部: ガラス装飾シート貼り	網戸	
記号	①TSU	①ST	②SD
名称	バリアフリートイレ	倉庫兼メンテナンス室	倉庫兼メンテナンス室
図面			
種類	軽量額付片引キハンガー戸	両開キフラッシュ戸	片開キフラッシュ戸
口数	1	1	1
見込	100	90	90
材種	スチール 焼付塗装	スチール DP	スチール DP
金物	ハンガーレール(自閉装置、点検カバー)・引棒(抗菌仕様)・シリンダー錠 表示錠(非常時開錠装置付)・スチール三方枠・他付属金物一式	レバーハンドル・シリンダー錠(サムターン付)・T番・DC ステンレス下枠・アングルピース・他付属金物一式	レバーハンドル・シリンダー錠(サムターン付)・T番・DC ステンレス下枠・アングルピース・他付属金物一式
硝子	型板ガラスt4		
備考	屋外仕様・ステンレス巾木		
記号	①WB		
名称	女子トイレ・男子トイレ		
図面			
種類	片開キ扉戸		
口数	2		
見込	40		
材種	米松(ビラー) WPS		
金物	レバーハンドル・シリンダー表示錠(サムターン付)・T番・DC ステンレス音摺り・付属金物一式		
硝子	型板強化ガラスt4		
備考	ステンレス巾木		

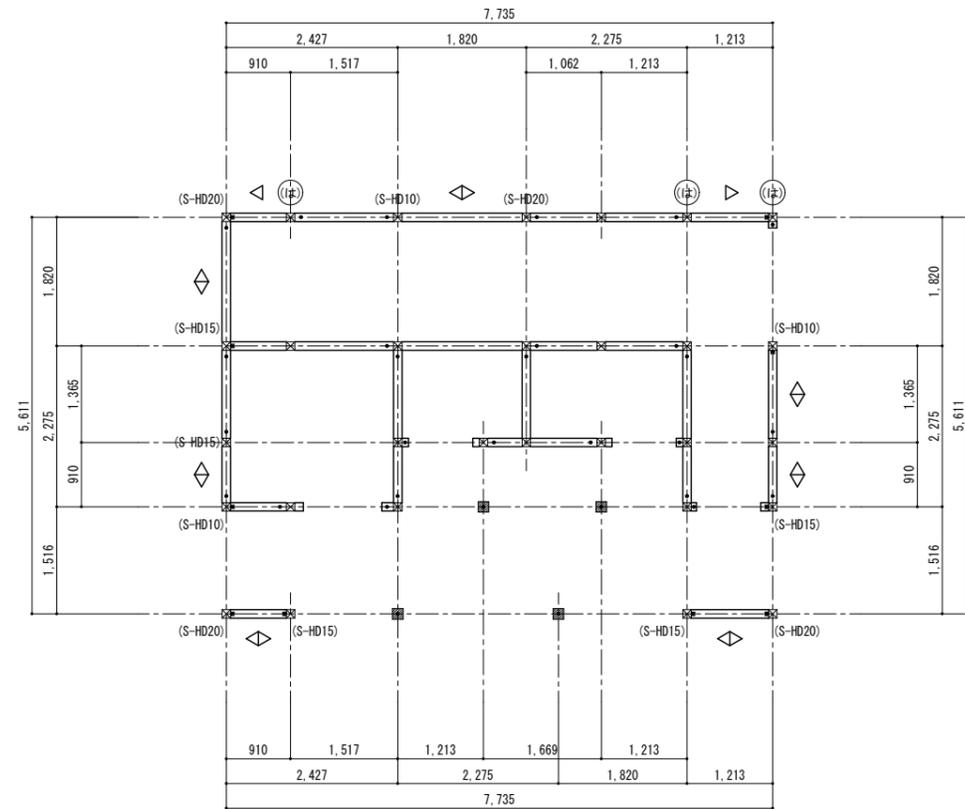


建具伏図 S=1:50

- 〈共通事項〉
- 寸法は参考寸法とする。
 - 特記なき金物はステンレス製とする。
 - ガラス押エは、原則としてシーリング押エとする。
 - サッシ廻りのコーキングは、原則として変成シリコン系とする。
 - 必要なヶ所は、戸当り付とする。
 - ドア下床見切は、ステンレス製とする。
 - 原則として外廻りのサッシは、結露受付とする。
 - 網戸は、合成樹脂製とする。
 - 出入り口部分の下枠及び水切は、原則としてステンレスとする。
 - DCは、原則としてストップ付とする。

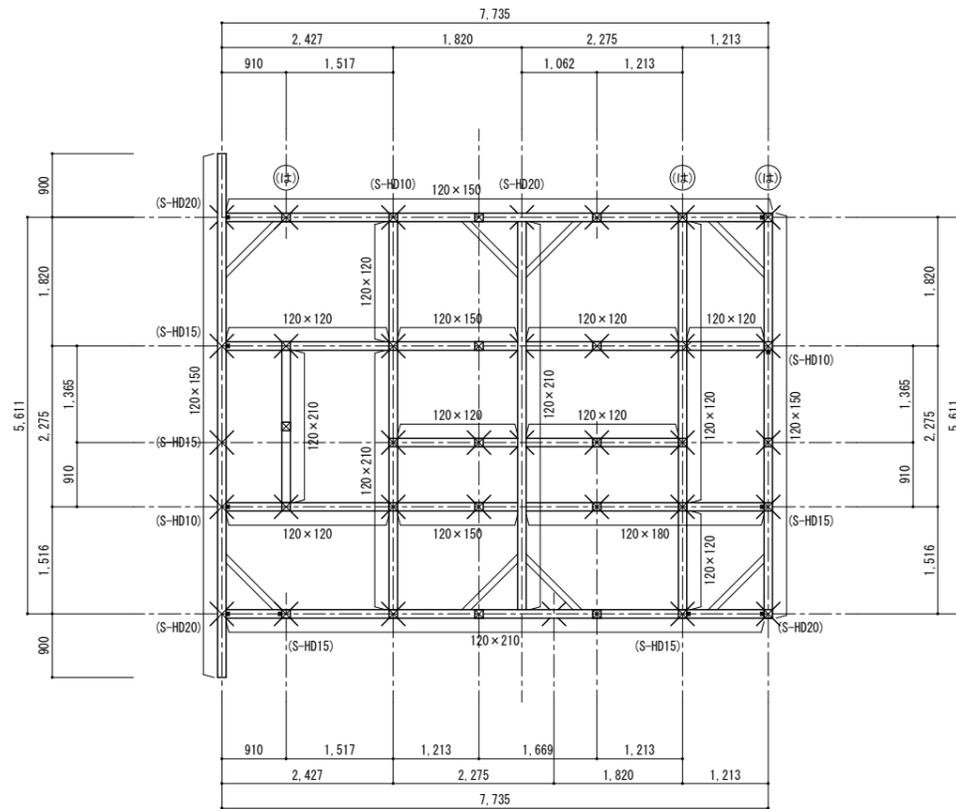


床伏図 S=1:50



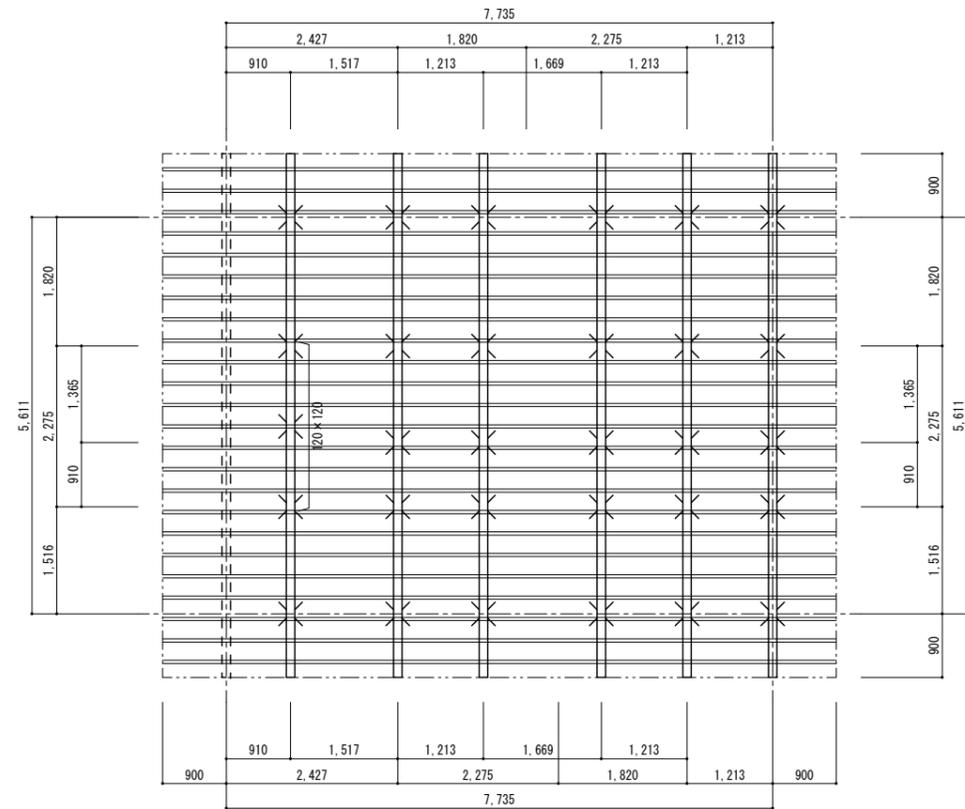
土台伏図 S=1:50

- ☒ 柱：120×120を示す
 - アンカーボルト：M12 L=500 フック付（位置は柱芯より150mmを基本、埋込み長さ250mm以上とする）
 - ホールダウン金物（S-HD10、S-HD15、S-HD20）
 - ◁ 筋カイ：45×90 シングル位置を示す 設置方向：[相] ◁ [土台]
 - ◊ 筋カイ：45×90 ダブル（たすき掛け）位置を示す
 - 化粧柱：150×150を示す
 - 土台：防腐土台 120×120（基礎パッキン120）
 - 柱：杉（KD） 120×120、150×150
- ・ 木材は、KD材とする。
- ・ アンカーボルトの埋設位置は以下とする。但し、ホールダウン専用アンカーボルトが取り付けられた場合は、省略することができる。
- ① 筋違いを設けた耐力壁の両端の柱脚部
 - ② 土台の継手、仕口箇所の上木端部および土台端部
 - ③ 上記のほか、@2.7m以内となる位置
- ・ ホールダウン金物以外の柱脚部は、図中の告示記号(ろ) (は) (に) の金物取付とする。
- ・ 特記以外の柱脚部は、告示記号(い) 以上の金物取付とする。
- ・ 筋違部には、筋違金物（壁倍率2.0倍用）取付とする。
- ・ その他接合部（継手、仕口等）は、告示平12建告第1460号による。



梁伏図 S=1:50

- ▽ 下部柱 : 120×120 (化粧柱 150×150) を示す
 - 小屋束 : 120×120を示す
 - ホールダウン金物 (S-HD10、S-HD15、S-HD20)
- 柱 : 杉 120×120
 梁・桁 : 唐松 120×120・150・180・210
 火打梁 : 唐松 90×90
 小屋束 : 杉 120×120
- ・ 木材は、KD材とする。
 - ・ 梁接合部には、羽子板ボルトを取付とする。
 - ・ 火打梁には、六角ボルトを取付とする。
 - ・ ホールダウン金物以外の柱頭部は、図中の告示記号(ろ)(は)(に)の金物取付とする。
 - ・ 特記以外の柱頭部は、告示記号(い)以上の金物取付とする。
 - ・ その他接合部(継手、仕口等)は、告示平12建告第1460号による。



小屋伏図 S=1:50

- ▽ 下部小屋束 120×120を示す
- 小屋束 : 杉 120×120
 モヤ : 唐松 120×150 (特記以外)
 タル木 : 杉 45×90 @303
- ・ 木材は、KD材とする。
 - ・ 母屋と垂木は、ひねり金物又は同等品にて接合とする。
 - ・ 小屋束は、かすがいにて接合とする。
 - ・ その他接合部(継手、仕口等)は、告示平12建告第1460号による。

木造壁量計算表 (建築基準法施行令第46条)

軸組の種類	倍率	設計壁量の小計 (倍率×単位壁長×所=)			
		X 方向		Y 方向	
		2階	1階	2階	1階
(1) 土壁又は木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面に打ち付けた壁を設けた軸組	0.5				
(2) 木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の両面に打ち付けた壁を設けた軸組	1.0				
(3) 厚さ1.5センチメートルで幅9センチメートルの木材もしくは径9ミリメートルの鉄筋又はこれらと同等以上の耐力を有する筋違を入れた軸組	1.5				
(4) 厚さ3センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋違を入れた軸組	2.0		91×1 121×1		
(5) 9センチメートル角の木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋違を入れた軸組	3.0				
(6) (2)から(4)までに掲げる筋違をたすき掛けに入れた軸組	(2)(3)(4) 倍率×2		91×1 121×1 182×1	91×2 136×1 182×1	
(7) (5)に掲げる筋違をたすき掛けに入れた軸組	5.0				
(8) その他建設大臣が(1)～(7)までに掲げる軸組と同等以上の耐力を有するものと認めて定める軸組					
(9) (1)又は(2)に掲げる壁と(2)から(6)までに掲げる筋違を併用した軸組	(1)(2)と (2)(3)(4) (5)(6) との合計				
設計壁量の合計 cm			2000	2000	

◎上の数値が必ず下の数値以上であること。

必要壁量 cm	VII	VII	VII	VII
or: いづれか大きい数値	①or③	②or④	①or⑤	②or⑥

2階平面必要壁量

2階床面積 × 表2の数値 = 必要壁量 cm ... ①

2階見付面積 × 表3の数値 = 必要壁量 cm ... ③

1階平面必要壁量

1階床面積 × 表2の数値 = 必要壁量 cm ... ②

1階見付面積 × 表3の数値 = 必要壁量 cm ... ④

X面立面必要壁量

19.79 × 50 = 990 ... ④

Y面立面必要壁量

18.11 × 50 = 906 ... ⑥

表 2 地震力によって定まる壁量

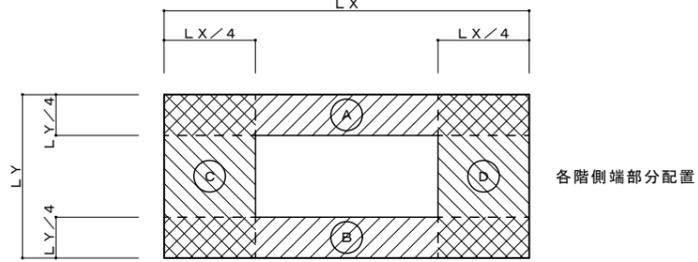
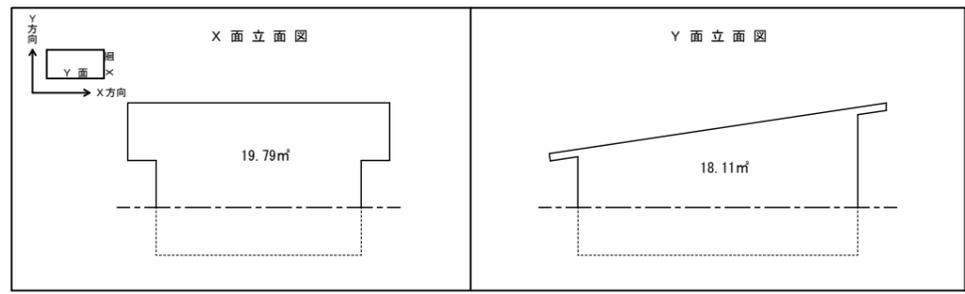
建築物	F階の床面積に乘する数値 単位 cm/㎡					
	階数が1の建築物	階数が2の建築物の1階	階数が2の建築物の2階	階数が3の建築物の1階	階数が3の建築物の2階	階数が3の建築物の3階
屋根を金属板、石葺、石積スレート、木葺その他これらに類する軽い材料で葺いたもの	1.1	2.9	1.5	4.6	3.4	1.8
上記以外のもの	1.5	3.3	2.1	5.0	3.9	2.4

この表における階数の算定については、地階の部分の階数は、算入しないものとする。

表 3 風圧力によって定まる壁量

区 域	見付面積に乘する数値 単位 cm/㎡
特定行政庁がその地方における過去の風の記録を考慮してしばしば強い風が吹くと認めて規則で指定する区域	50を超え、75以下の範囲内において特定行政庁がその地方における風の状況に応じて規則で定める数値
○に掲げる区域以外の区域	50

注: 梁に鉄骨を用いる場合は柱との取付詳細図を添付し、床面の水平剛性はどのように考慮してあるか明記して下さい。



2階側端部分壁量充足率

X方向

Y方向

1階側端部分壁量充足率

X方向

Y方向

2階耐力壁配置の検討

X方向 両方の壁量充足率>1.0 壁率比 ≥ 0.5

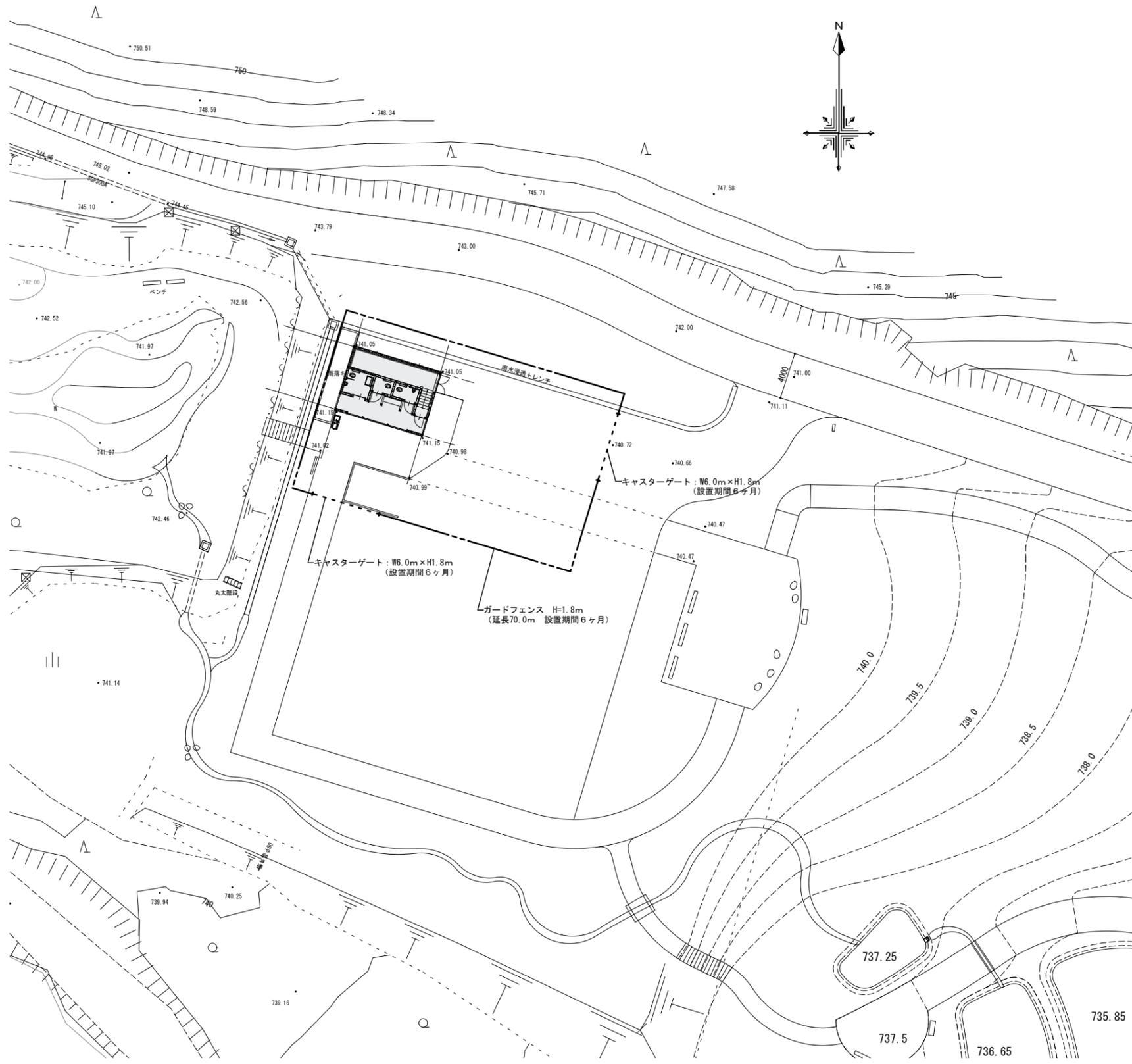
Y方向 両方の壁量充足率>1.0 壁率比 ≥ 0.5

1階耐力壁配置の検討

X方向 両方の壁量充足率>1.0 壁率比 ≥ 0.5

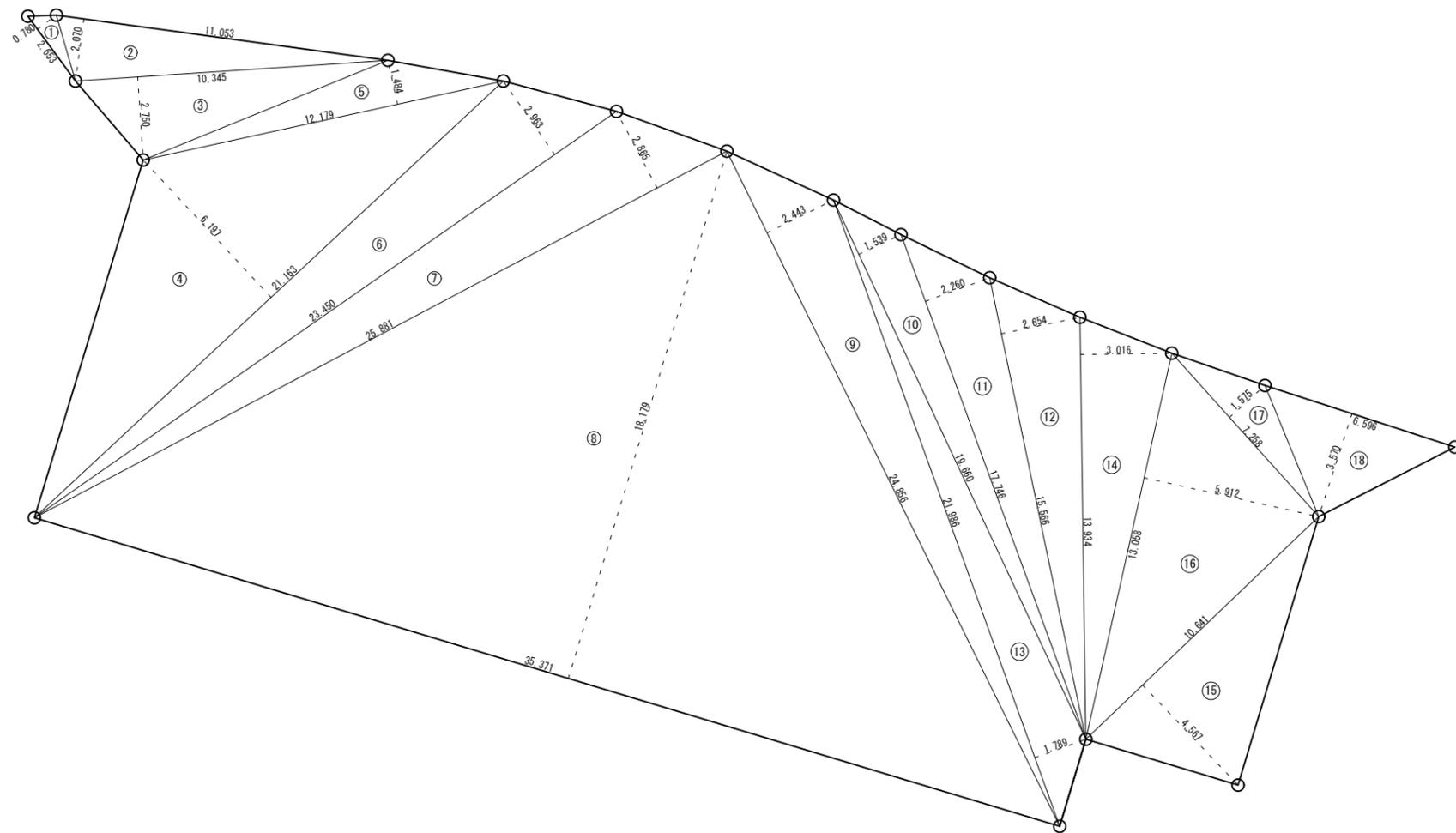
Y方向 両方の壁量充足率>1.0 壁率比 ≥ 0.5

壁率比: 壁量充足率の小さい数値/大きい数値



配置図

工事名称 : 令和7年度 黒沢洞合自然公園公衆トイレ建設・既存トイレ補修工事
 図面名称 : 公衆用トイレ 仮設計画図
 縮尺 : 1:200 (A3=1:400) 図面番号 : A-19
 DATE : . . .



地番	底辺	高さ	倍面積 m2
1	2.653	0.780	2.069
2	11.053	2.070	22.880
3	10.345	2.750	28.449
4	21.163	6.197	131.147
5	12.179	1.484	18.074
6	23.450	2.963	69.482
7	25.881	2.865	74.149
8	35.371	18.179	643.009
9	24.856	2.443	60.723
10	19.660	1.539	30.257
11	17.746	2.260	40.106
12	15.566	2.654	41.312
13	21.986	1.789	39.333
14	13.934	3.016	42.025
15	10.641	4.567	48.597
16	13.058	5.912	77.199
17	7.258	1.575	11.431
18	6.596	3.570	23.548
	倍面積 m2		1403.790
	面積 m2		701.895
	地積 m2		701.89

工事名称 : 令和7年度 黒沢洞合自然公園公衆トイレ建設・既存トイレ補修工事
 図面名称 : 公衆用トイレ 敷地求積図
 縮尺 : 1:100 (A3=1:200) 図面番号 : A-20
 DATE : . . .

電気設備工事

I. 工事概要

1. 工事場所 安曇野市 三郷小倉洞合

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
公衆用トイレ	木造	平屋	43.40	15号	

3. 工事種目 (〇印のついたものを適用する。)

工事種目	項目	建物別及び屋外		
		電	機	配
電灯設備		○		
動力設備	幹線、分岐			
電熱設備	幹線、分岐			
蓄保護設備				
受変電設備				
静止形電源設備	直流電源装置			
発電設備	太陽光発電装置	○		
構内情報通信設備	LAN用配管			
構内交換設備	電話設備			
情報表示設備	時計設備			
映像・音響設備				
拡声設備				
誘導支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備			
テレビ共同受信設備				
監視カメラ設備				
駐車場管制設備				
防犯・入退室管理設備	予備配管			
自動火災報知設備				
自動閉鎖設備				
非常警報設備	非常放送装置			
ガス漏れ警報設備				
中央監視制御設備				
構内配電線路				
構内通信線路				
昇降機設備				

4. 図面目録

番号	図面名称	番号	図面名称
1	特記仕様書	21	
2	電灯設備平面図	22	
3	コンセント設備平面図	23	
4	太陽光発電設備機器図	24	
5	太陽光発電設備平面図	25	
6		26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

II 工事仕様

1. 共通仕様

- 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁官庁の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。), 「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。), 及び「公共建築設備工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準図」という。), による。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書による。

2. 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。
③ 化学物質を発生する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)、(2)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放射しないものとは放射量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放射が極めて少ないものとは放射量が第三種のもの、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放射量」は、次のとおりとする。
ホルムアルデヒドの放射量	該 当 す る 建 築 材 料 ①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤を使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用
第三種	①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE〇規格品 ④旧JASのF〇〇規格品
4 電気保安技術者	電気事業法に定める自家用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
5 電気工事士	契約電力500kWh以上の電気工作物においても、第一種電気工事士より施工を行う。
⑥ 実施工程表及び施工計画書	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員との承諾を受けること。
⑦ 使用材料発注先調書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。
⑧ 発生材の処理	(1)引渡しを要するもの ○無 ・ 有 () (2)引渡しを要するもの以外 ○構内搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物 ○無 ・ 有 () (4)再利用又は再資源化を図るもの ○無 ・ 有 () ○無 ・ 有 (・ コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類)
⑨ 監督員事務所	○設けない ・ 設ける (規模 :) ・ 備品 ()
⑩ 工所用仮設物	すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが ○できる ・ できない ・ 別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ・ 内部仮設足場等 (・ 架台足場 ・ 移動式足場 ・ 移動式室内足場) ・ 外部仮設足場等 (・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種) ・ 防護シート ()
⑪ 足場・さん橋類	
⑫ 工所用電力・水・その他	
⑬ 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。
⑭ しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。
15 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。
16 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2005版(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量 [kg] に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。

項目	特記事項					
	設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
設計用標準水平地震度						
上階階、	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	
層上及び塔屋	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0	
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6	
地下1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	
	水槽類(※1)	1.0	1.0	1.0	0.6	

(※1)水槽類にはオイルタンク等を含む。
○重要機器の定義は次による。
・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 直流電源設備 ・ 交流無停電電源装置
・ 交換機 ・ 自動火災報知受信機 ・ 中央監視装置
○上階階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、
10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

(2)設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
(1)重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)8章の2節8.2.4及び(1)節による。
(2)上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。
(引抜き試験等 ・ 実施する ・ 実施しない)
電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合は施工状況について、貫通箇所を両面から写真撮影し、工事写真として提出する。

(1)EM-EEFは、紫外線による劣化を抑制する性能を持たせ、「タカギイシ EM-EEF」と表記されたものを使用する。
(2)EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースによるJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。
埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合には(25)を1本5個以上の場合には(25)を2本、天井まで立上げる。
長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線管を挿入する。
下記の露出配管は塗装を行う。
・ 屋外 ・ 屋内 ()
・ 種別 ・ A種 ○B種 ・ C種 ・ D種
・ 管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める

⑭ 建設発生土の処理
⑮ ケーブル埋設業
(1) 地中線路には、ケーブル埋設業者をもうける。
・ 鉄製 ・ コンクリート製
(2) 低圧配線にあっても地中埋設標準シートを敷設する。
(3) 配管埋設設備が750mmを超える場合は、地中埋設標準シートを2条以上敷設する。
(1) 露出するプルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。
(2) 露出するプルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。
図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・ 樹脂製
プルボックス、ジョイントボックス及び機器を塗装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。
タンプラススイッチは運用形式とする。
壁付コンセント(ZP15A)は原則として運用形式とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(ZP15A)以外はすべてキャップ付とする。
・ 直付 (ビス止め) 型直上下式 (鋼合金製 ・ アルミ製) となる
・ 直付 (ビス止め) 型直上下式 (鋼合金製) となる
・ 押ボタン
本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。
(1) 非常用照明的照度測定は設置後速やかに行い、監督職員に報告する。
(2) 学校施設における室内照度測定 (測定教室: 個所、測定黑板报: 個所)
※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する
(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線絡線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。
(2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。
長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目
○資材> ・ 照明制御システム ・ 変圧器 ()
<建設機器> ・ 排出ガス対策型建設機器 ・ 低騒音型建設機器
工事区分表(平成 年度)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。

保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。
(長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)

3. ハンドホール

下表による。(端子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)

ハンドホール No.	仕様	仕様	仕様
・	ハンドホール No.ー	1, 500×1, 500×1, 500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1, 740以上 (アルミ端子付)
・	ハンドホール No.ー	1, 200×1, 200×1, 500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1, 700以上 (アルミ端子付)
・	ハンドホール No.ー	1, 000×1, 000×1, 400D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1, 600以上 (アルミ端子付)
・	ハンドホール No.ー	1, 000×1, 000×1, 100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1, 300以上 (アルミ端子付)
・	ハンドホール No.ー	900× 900×1, 100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1, 260以上 (アルミ端子付)
・	ハンドホール No.ー	900× 900× 900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1, 060以上 (既製足場付)
・	ハンドホール No.ー	600× 600× 680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	
・	ハンドホール No.ー	450× 450× 680D 蓋 WPM-45B (Eマーク入)	※植栽帯等車両の通行の恐れがない場所、収容ケーブルが少ない場所に据る

4. 接地極

下表による。ただし、これよりがたい場合は監督員との協議による。

種別	仕様	仕様
・	A種接地	鋼板 1.5t×900×900 補助接地棒(連続10φ×1,500) リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m 埋設棒(黄銅製又はステンレス製)
・	B種接地	鋼板 1.5t×600×600 補助接地棒(連続10φ×1,500) リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m 埋設棒(黄銅製又はステンレス製)
・	C種接地	鋼板 1.5t×300×300 補助接地棒(連続10φ×1,500) リード端子付 堀削埋戻中心深さ 1.5m 埋設棒(黄銅製又はステンレス製)
○	D種接地	接地棒(10φ×1,500) リード端子付 打ち込み式 埋設棒(黄銅製又はステンレス製)

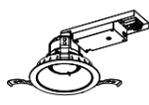
5. 機器取付高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表よりがたい場合には監督員との協議による。

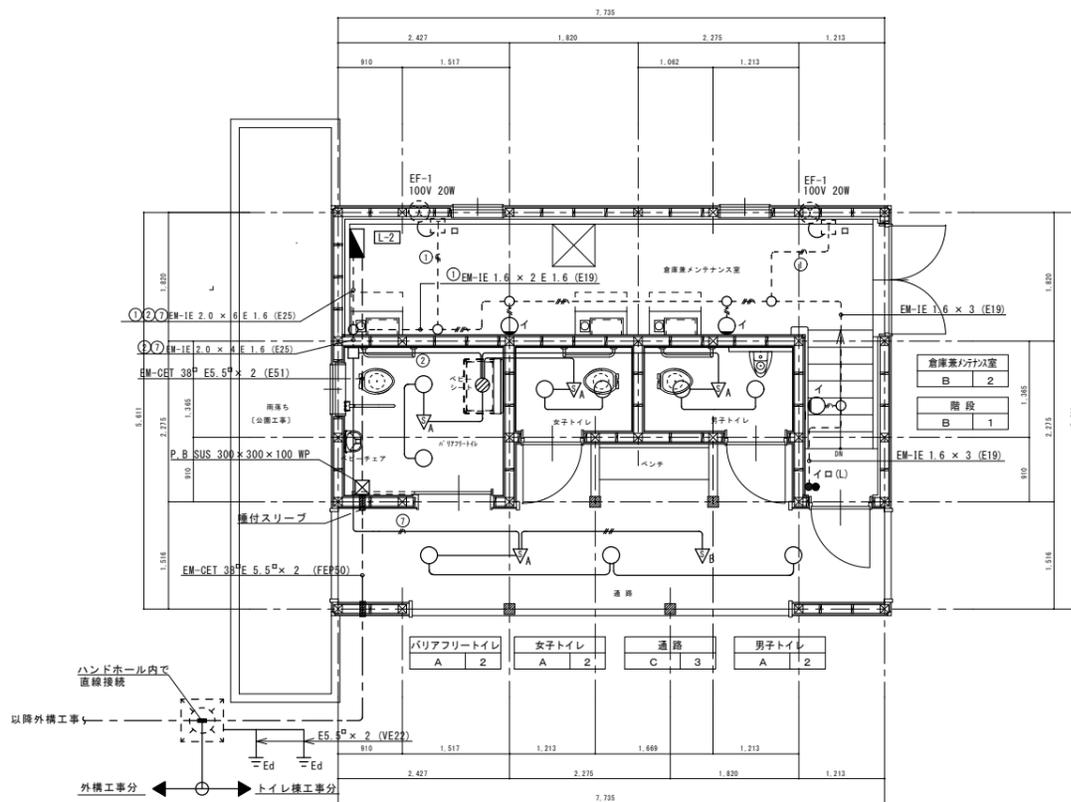
名称	測点	取付高(mm)	名称	測点	取付高(mm)	
共通	取引用計器	地上~上端 2,000	計 時 計	壁掛形時計	床面~中心 1,500 (上端1,900以下)	
電	引込閉閉器	床面~上端 1,800		表	子時計	" 1,500 (天井高)×0.9
	警報機	床面~中心 1,500			壁掛形スピーカ	" 1,500 (天井高)×0.9
灯	分電盤	床面~中心 (上端1,900以下) 1,500	アツチネーター	" 1,300		
	タンプラススイッチ	" 1,300	示	表 示 盤	床面~中心 (天井高)×0.9	
	"(身障者用)	" 1,100		壁付発信器	" 1,300	
	コンセント(一般)	" 300	ベル	" (天井高)×0.9		
	"(和室)	" 150	プザール	" (天井高)×0.9		
	"(便所)	" 500	押ボタン	" 1,300		
	"(台上)	" 150	"(身障者用押印)	" 900		
	ブラケット(一般)	床面~中心 2,100	身障者用表示灯	" 2,000		
	"(浴槽)	" 2,500	復働ボタン	" 1,800		
	"(鏡上)	" 150	壁付インターホン	床面~中心 1,500		
遊戯口鏡上灯	床面~下端 1,500以上	"(身障者用)	床面~中心 1,100			
遊下通路誘導灯	床面~上端 1,000以下	壁付位置ボックス (壁付インターホンを除く)	" 300			
動作	壁掛形制御盤	床面~中心 1,500	"(一般)	" 150		
力	手元閉閉器	(上端1,900以下) 1,500	機器取付箱	床面~中心 (天井高)×0.9		
電	操作スイッチ	" 1,300	アウトレット	床面~中心 300		
	押ボタン	" 1,500	"(一般)	" 150		
	室内端子盤 (廊下・室内)	床面~下端 300	受 信 機	床面~操作部 800~1,500		
	中間端子盤 (EPS・電気室)	床面~中心 1,500	火 災 警 報	副 受 信 機 800~1,500		
	受信機	" (天井高)×0.9	機 器 取 付 箱	床面~中心 800~1,500		
集合保安器	"	発 信 器	" 800~1,500			
壁付アウトレット	"	火 災 警 報 消 火 栓 表 示 灯	" (天井高)×0.9			
収納	ボックス(一般)	" 300	"	" (天井高)×0.8		
"	"(和室)	" 150				

(別表) しゅん工時提出物 (○に○印の付いたものを提出する。)

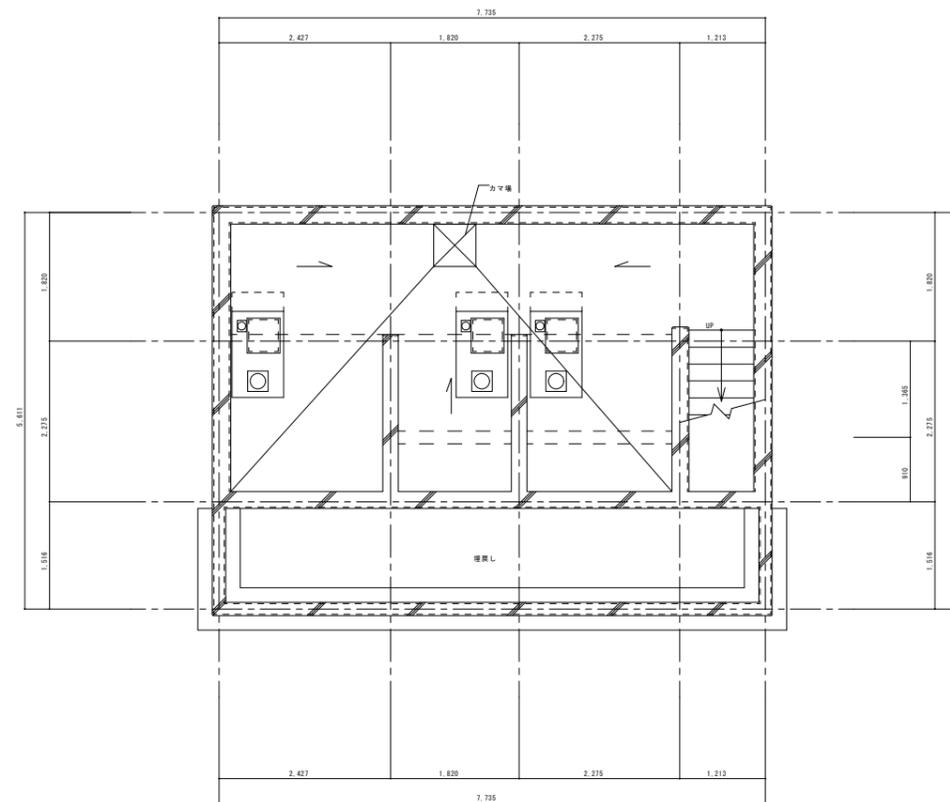
個 別 提 出 物	一 括 提 出 物
1 完成図	5 機器完成図
○ 原因 (A1版 ケース入り)	6 工事写真
○ 編目 (A1 2つ折り製本 1部)	7 完成写真
・ マイクロフィルム (アーキテクチャカード貼付 台紙は黄色)	8 工事記録 (打合せ簿、工事日報、協議書)
○ CADデータ	9 機材の試験成績書
2 設計図	10 施工の試験成績書
・ マイクロフィルム (アーキテクチャカード貼付 台紙は青色)	11 社内試験成績書
3 引渡書	12 発生処理報告書 (発生処理実施書・運搬及び処理の委託契約書の写し・マニフェストの写し、フロー図)
4 納入品	13 納入品一覽表
・ 予備品 ・ ハンドホールフック、ジャッキ	14 官公署手続、検査書(管理者用正本、写し)
○ 型類の鍵	15 保全に関する資料(取扱説明書も含む)

A	LEDユニット交換形ダウンライト	B	LEDユニットフラット形用 ブラケット	C	LEDユニット交換形ダウンライト 軒下用
 <p>消費電力：14.0W (AC200V時) 器具光束：2,100lm Hiコンパクト形蛍光灯FHT42形1灯 相関色温度：5000K 埋め込みサイズ：φ150 本体：アルミダイカスト 反射板：ビュアホワイト 定格電圧：AC100V～242V 非調光 一般形 白色反射板 φ150 東芝：LEKD203025N-LS9参考型番</p>		 <p>寸法：径φ145×出幅67 本体：アルミダイカスト ホウロウ セード：アクリルクリア 内面乳白塗装 (ネジ込み式) 定格電圧：AC100V 消費電力：4.0W 器具光束：450lm 相関色温度：2700K (電球色) 東芝：LEDB85000 参考型番</p>		 <p>消費電力：17.1W (AC200V時) 器具光束：1,950lm 水銀ランプ100W形 相関色温度：5000K 器具サイズ：幅140×283×高さ137 埋め込みサイズ：φ125 枠：銀板 (ビュアホワイト) 定格電圧：AC100V～242V 非調光 本体：アルミダイカスト 東芝：LEKD253924N-LS9参考型番</p>	

盤名称	盤結線図	回路番号	分岐開閉器	負荷容量 (VA)	負荷名称
L-2 銅板製指定色 形シ便付仕上 (施設付) 露出・壁掛型 上部配線 ダクト付	AC1φ3W 200V/100V NCCB3P (逆接続可能型) 50AF/30AT 計 3,787 VA	①	ELB2P50/20A	52	倉庫兼メンテナンス室電灯・換気扇
		②	ELB2P50/20A	84	トイレ電灯
		③	ELB2P50/20A	900	トイレコンセント(管理用)
		④	ELB2P50/20A	1200	暖房便座用
		⑤	ELB2P50/20A	300	排気用コンセント
		⑥	ELB2P50/20A	1200	し尿処理装置用コンセント
		⑦	ELB2P50/20A	51	通路電灯 24h制御
		⑧	ELB2P50/20A		予備
	MCCB3P50/30A			3,787	パワーコンディショナー (逆接続可能型)
					備考



平面詳細図 S=1:50



下段レベル平面詳細図 S=1:50

記号	名称・仕様
—	EM-EFF 1.6 - 2C いんべい
—	EM-EFF 1.6 - 3C 1線アース いんべい
—	EM-EFF 1.6 - 2C × 2 いんべい
—	EM-IE 1.6 × 2 E 1.6 (E19) 露出配管
—	EM-IE 1.6 × 4 E 1.6 (E25) 露出配管
---	露出配線
▨	壁貫通
□	角型露出ボックス
○	丸型露出ボックス
●	埋込スイッチ 1P15A 金属プレート
▽	熱感自動センサスイッチ 親機 8A
▽	熱感自動センサスイッチ 子機
○	照明器具 器具要図参照
○	照明器具 器具要図参照
■	電灯分電盤 結線図参照
■	温度サーモスイッチ 支給品 取付本工事
■	接地工事 連絡式接地棒 1.5m 接地埋設様共

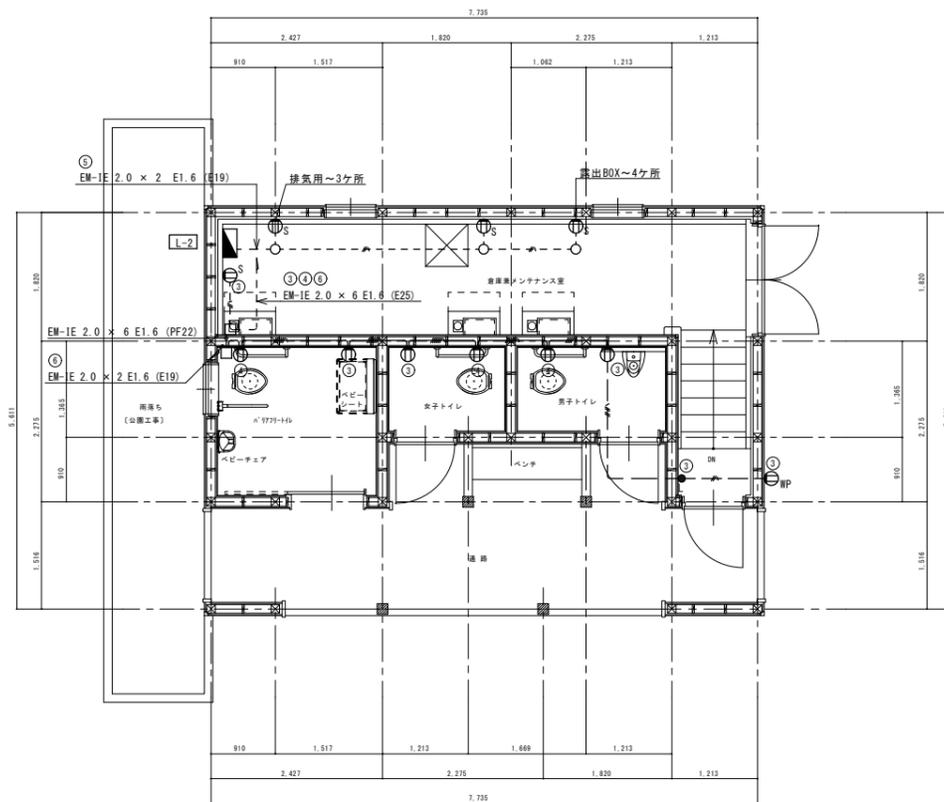
いんべい

工事名称：令和7年度 黒沢洞自然公園公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事

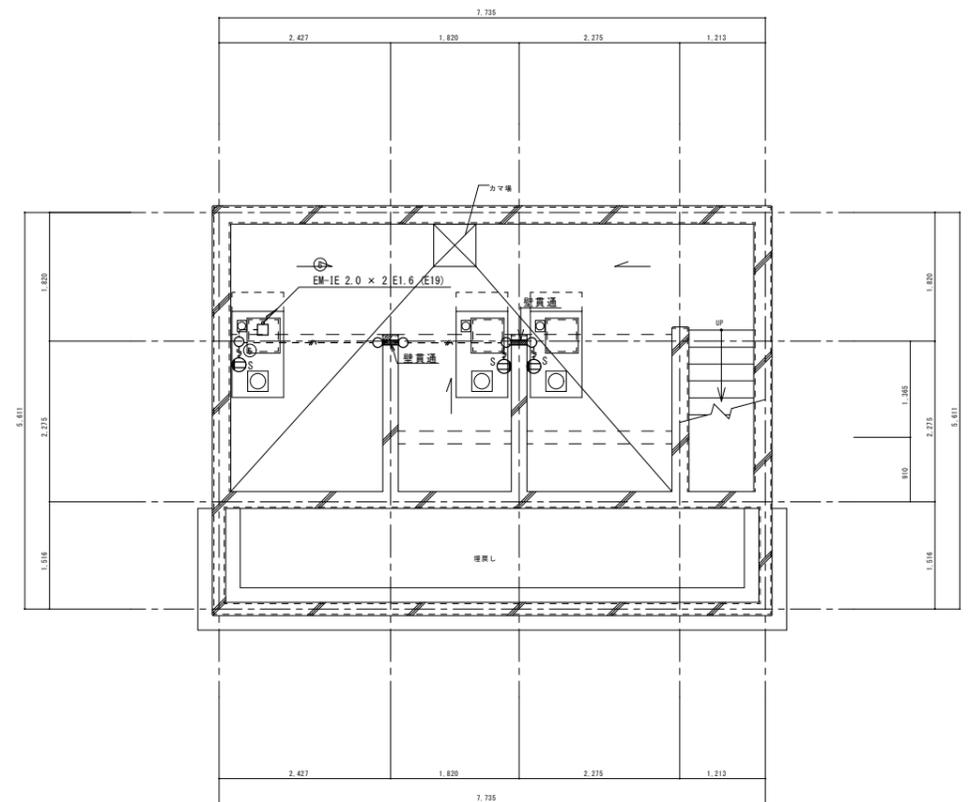
図面名称：公衆用トイレ 電灯設備平面図

縮尺：1:50(A3=1:100) 図面番号：E-02

DATE



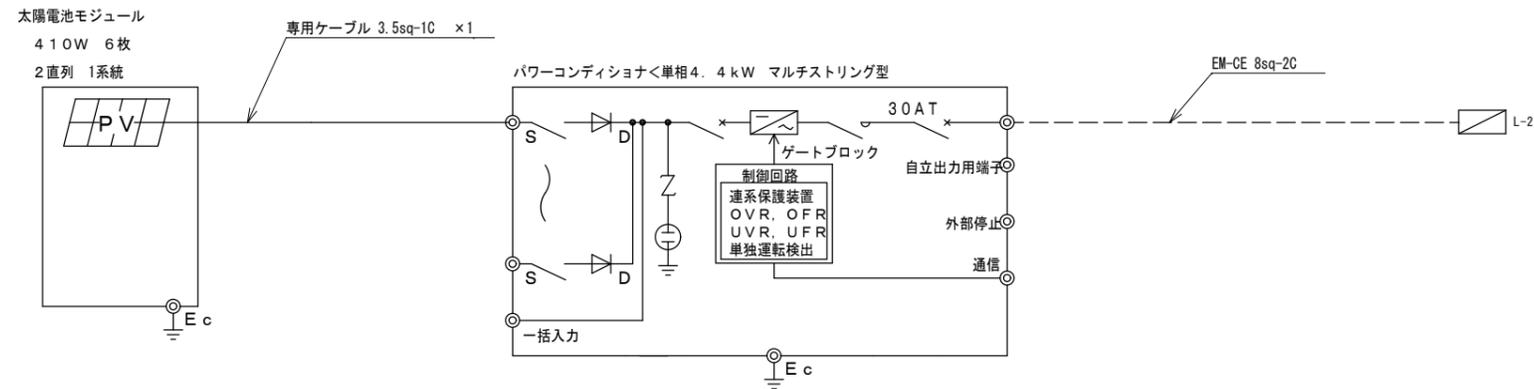
平面詳細図 S=1:50



下段レベル平面詳細図 S=1:50

記号	名称・仕様
—●—	EM-IE 2.0 × 2 E1.6 (PF16) いんべい
—●—	EM-IE 2.0 × 6 E1.6 (PF22) いんべい
—●—	EM-IE 2.0 × 2 E1.6 (PF16) 床下配管
—●—	EM-IE 2.0 × 2 E1.6 (E19) 露出
—●—	壁貫通
□	角型露出ボックス
○	丸型露出ボックス
⊖	埋込コンセント 接地2P15A × 2 金属プレート
⊖ _{WP}	埋込コンセント 接地2P15A × 2 防水プレート
⊖ _S	埋込コンセント 接地2P15A × 2 露出BOX付
⓪	回路はSWで制御する
●L	埋込スイッチ パイロット付

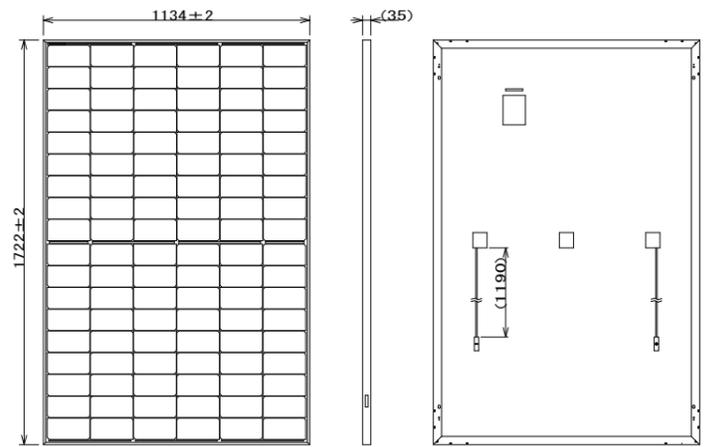
システム系統図



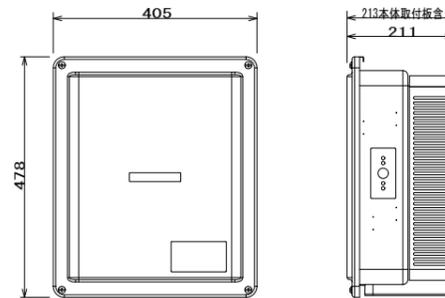
太陽電池モジュール (参考図)

VBM410FJ03N

パワーコンディショナ単相4.4kW マルチストリング型 屋内屋外兼用・大電流対応・耐塩害仕様 (参考図) VBPC244GM3T



仕様 : 単結晶シリコン太陽電池
最大出力 : 410W
質量 : 21.5kg

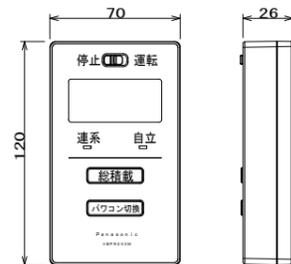


質量 : 20kg (壁取付板含む23kg)
塗装色 : ME-K04 (前パネル)、NW-K19 (本体、取付板) 9.4Y5.6/0.5
材質 : 鋼板

取り付けは機器メーカーの指定する方法で確実に行うこと

一括制御リモコン (参考図)

VBPR203M



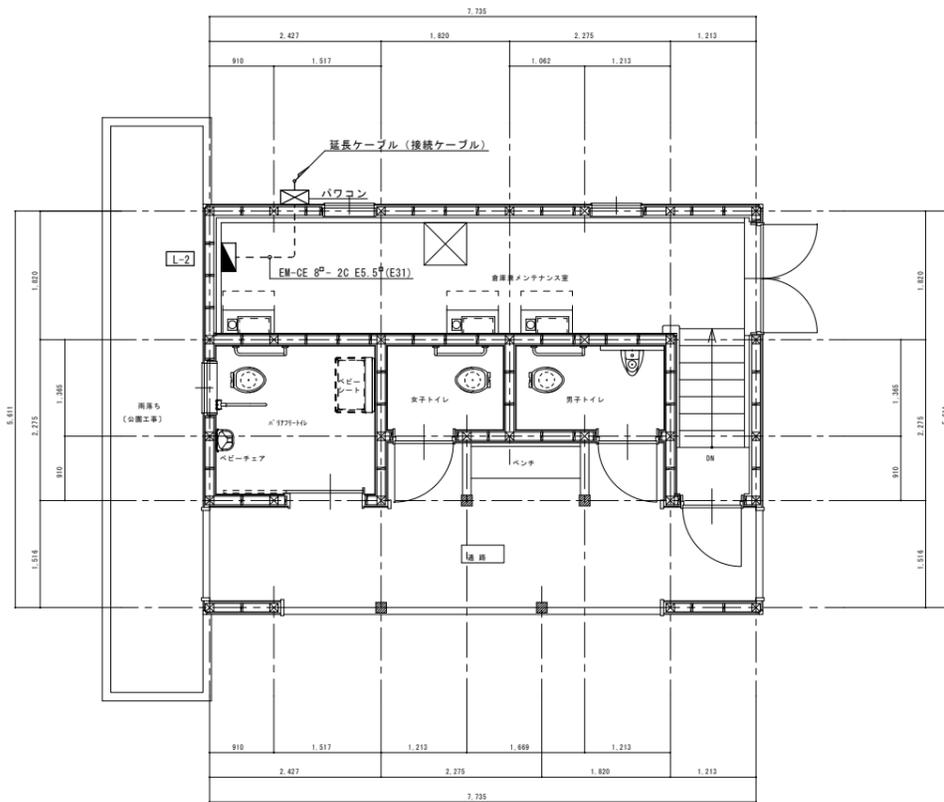
質量 : 0.14kg (取付金具込み)
色 : DMC-W13
材質 : ABS樹脂

工事名称 : 令和7年度 黒沢洞合自然公園公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事

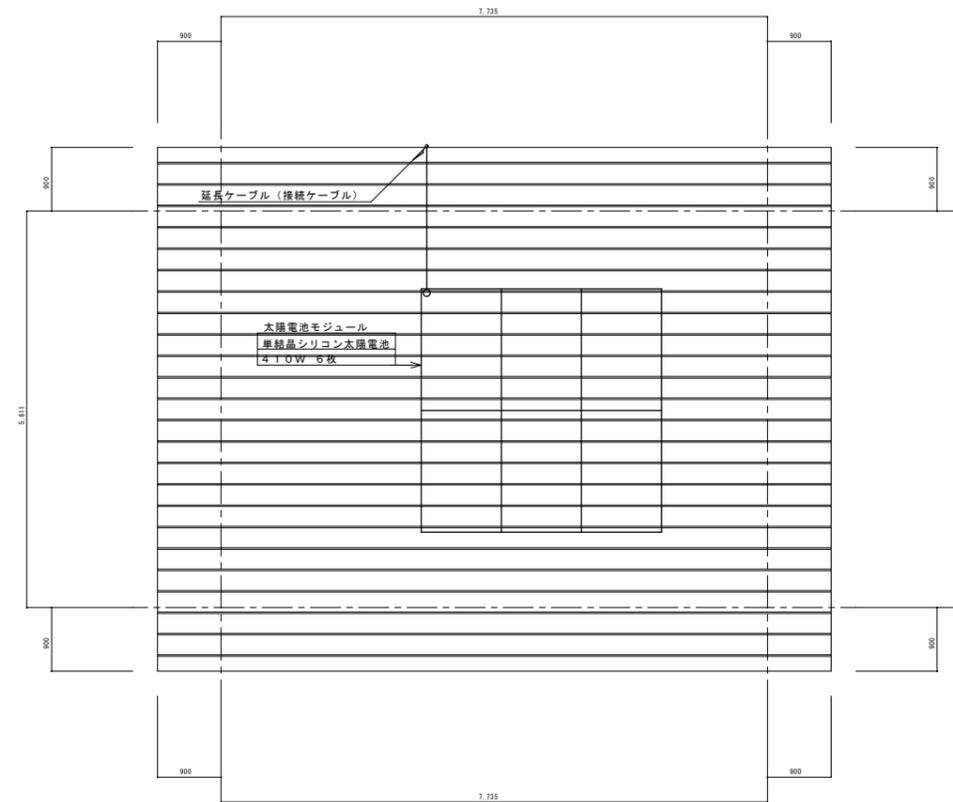
図面名称 : 公衆用トイレ 太陽光発電設備機器図

縮尺 : NON 図面番号 : E-04

DATE :



平面詳細図 S=1:50



屋根伏図 S=1:50

機械設備工事

I. 工事概要

1. 工事場所

安曇野市三郷小倉

2. 建物概要

建物名称	工事種別	構造	階数	延床面積(m ²)	消防法施行令別表第一	耐震分類	備考
公衆用トイレ	新築	木造	1階	43.40	15号		

3. 工事種目(●印を付けたものを適用する)

工事種目	建物別		工事内容			
	トイレ					屋外
○空気調和設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○冷暖房設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○暖房設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
●換気設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○排煙設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○自動制御設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
●衛生器具設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○給水設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○排水設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○給湯設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○給水設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○給湯設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
●消火設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ガス設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○給油設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○厨房機器設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○実験実習器具設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○浄化槽設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○						

4. 設備概要(○印を付けたものを適用する)

方法及び種別	設備概要
空調方式	・
冷暖房方式	・
暖房方式	・温風暖房 ・温水暖房 ・FF暖房
換気方式	○給所換気
給水方式	・水道直結式 ・加圧式 ・高置タンク式(・上水 ・井水) ・建物内汚水、雑排水(・分流 ・合流) ・建物外汚水、雑排水(・分流 ・合流) ・浄化槽(・合併 ・単独) ・放流先 ・公共下水
排水方式	・
消火設備の種類	・屋内消火栓設備 ○消火器
ガスの種別	・都市ガス(発熱量 KJ/m ³ 、供給事業者名:) ・液化石油ガス(発熱量 100,000 KJ/m ³)

5. 指定部分

・無 ・有 (指定部分しゅん工期限 平成 年 月 日)

対象部分:

II. 図面目録

番号	図面名称	番号	図面名称
M-1	機械設備工事 特記仕様書	14	
M-2	機械設備平面図、換気設備機器仕様表、衛生器具表	15	
3		16	
4		17	
5		18	
6		19	
7		20	
8		21	
9		22	
10		23	
11		24	
12		25	
13		26	

III. 工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁情報部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。)、 「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)」(以下、「標準版」という。)による。
 - (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。
- 参考図書
- 安曇野市建築工事の手引き(以下、「手引き」という。)安曇野市企画財政部監修
- ### 2. 特記仕様
- (1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
 - (2) 特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用し、●印の付いたものは適用しない。

章	項目	特記事項
1	機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
2	機材の品質・性能証明	使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料(以下、「品質性能証明資料」という。)を提出して監督職員の承諾を受ける。(標準仕様書第1編第4章第4節4.1.4.2)ただし、(社)公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価書 設備機材等評価名簿」によって所定の評価を受けているものは省略できる。製作図、試験成績書等は除く。
3	使用材料発注先調査	使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調査を作成し、監督職員の承諾を受ける。
4	施工条件明示項目	・公共建築工事標準仕様書の解説(設備工事編)の「執務並行改修」

6. ベースシール剤

化学物質を発生する建築材料等

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。

- 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単層積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗料及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。
- 2) 保温材、断熱材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。
- 3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。
- 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。
- 5) 上記1)、3)、4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。

なお、ホルムアルデヒドを発生しないものとは、発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第3種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第3種のものを使用するものとする。

ホルムアルデヒドの発散量	該当する建築材料
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品	
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品	
③下記表示のあるJIS規格品	
a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用	
b 接着剤等不使用	
c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない材料使用	
d ホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用	
e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料使用	
f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用	

飲料水水系に使用されているベースシール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用されていないこと。

ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼン、テトラヒカン、クロロピリロス、フェノカルブ、ダイアジノン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル

電気保安技術者を設置する。

・配管(1、2) ・冷凍空気調和機器(1、2) ・熱絶縁(1、2) ・建築板金(1、2)

○設けない ・設ける

この工事に必要な工事用電力、用水、諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。

○別契約の関係請負者が指定したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担する。

・改修機械設備標準仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。

・内部仮設足場等(・種 ・種) ・外部仮設足場等(・種 ・種)

資材の保管

13 建設発生土

14 埋め戻し土・盛土

15 山留養生

16 発生材処理

資材の保管は必ず屋根をかけた地上30cm以上の架台に乗せる。

・監督員が指示する構内の場所に敷ならし ・構内指定場所にたい積 ・構外搬出適切処理

・掘切中の良質土(ただし管の周囲は山砂、川砂又は再生砂) ・山砂の種類

掘切中の山留め ・有(・) ・無

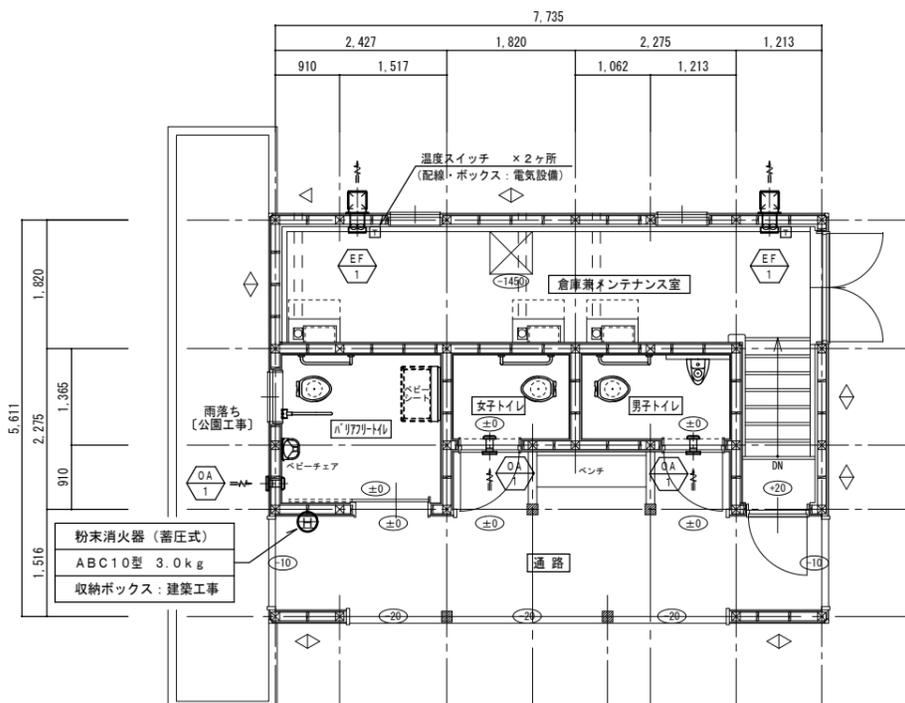
工事に先立ち手引き第2編による廃棄物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工期には廃棄物等処理報告書を作成し提出する。

(1) 引渡しを要するもの ・無 ・有()

(2) 引渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法により適切に処理すること。

(3) 特別管理産業廃棄物 ・無 ・有()

(4) 再利用又は再生資源化を図るもの(3)かつ(2)かつ(1)かつ(2)かつ(3)かつ(4)かつ(5)かつ(6)かつ(7)かつ(8)かつ(9)かつ(10)かつ(11)かつ(12)かつ(13)かつ(14)かつ(15)かつ(16)かつ(17)かつ(18)かつ(19)かつ(20)かつ(21)かつ(22)かつ(23)かつ(24)かつ(25)かつ(26)かつ(27)かつ(28)かつ(29)かつ(30)かつ(31)かつ(32)かつ(33)かつ(34)かつ(35)かつ(36)かつ(37)かつ(38)かつ(39)かつ(40)かつ(41)かつ(42)かつ(43)かつ(44)かつ(45)かつ(46)かつ(47)かつ(48)かつ(49)かつ(50)かつ(51)かつ(52)かつ(53)かつ(54)かつ(55)かつ(56)かつ(57)かつ(58)かつ(59)かつ(60)かつ(61)かつ(62)かつ(63)かつ(64)かつ(65)かつ(66)かつ(67)かつ(68)かつ(69)かつ(70)かつ(71)かつ(72)かつ(73)かつ(74)かつ(75)かつ(76)かつ(77)かつ(78)かつ(79)かつ(80)かつ(81)かつ(82)かつ(83)かつ(84)かつ(85)かつ(86)かつ(87)かつ(88)かつ(89)かつ(90)かつ(91)かつ(92)かつ(93)かつ(94)かつ(95)かつ(96)かつ(97)かつ(98)かつ(99)かつ(100)かつ(101)かつ(102)かつ(103)かつ(104)かつ(105)かつ(106)かつ(107)かつ(108)かつ(109)かつ(110)かつ(111)かつ(112)かつ(113)かつ(114)かつ(115)かつ(116)かつ(117)かつ(118)かつ(119)かつ(120)かつ(121)かつ(122)かつ(123)かつ(124)かつ(125)かつ(126)かつ(127)かつ(128)かつ(129)かつ(130)かつ(131)かつ(132)かつ(133)かつ(134)かつ(135)かつ(136)かつ(137)かつ(138)かつ(139)かつ(140)かつ(141)かつ(142)かつ(143)かつ(144)かつ(145)かつ(146)かつ(147)かつ(148)かつ(149)かつ(150)かつ(151)かつ(152)かつ(153)かつ(154)かつ(155)かつ(156)かつ(157)かつ(158)かつ(159)かつ(160)かつ(161)かつ(162)かつ(163)かつ(164)かつ(165)かつ(166)かつ(167)かつ(168)かつ(169)かつ(170)かつ(171)かつ(172)かつ(173)かつ(174)かつ(175)かつ(176)かつ(177)かつ(178)かつ(179)かつ(180)かつ(181)かつ(182)かつ(183)かつ(184)かつ(185)かつ(186)かつ(187)かつ(188)かつ(189)かつ(190)かつ(191)かつ(192)かつ(193)かつ(194)かつ(195)かつ(196)かつ(197)かつ(198)かつ(199)かつ(200)かつ(201)かつ(202)かつ(203)かつ(204)かつ(205)かつ(206)かつ(207)かつ(208)かつ(209)かつ(210)かつ(211)かつ(212)かつ(213)かつ(214)かつ(215)かつ(216)かつ(217)かつ(218)かつ(219)かつ(220)かつ(221)かつ(222)かつ(223)かつ(224)かつ(225)かつ(226)かつ(227)かつ(228)かつ(229)かつ(230)かつ(231)かつ(232)かつ(233)かつ(234)かつ(235)かつ(236)かつ(237)かつ(238)かつ(239)かつ(240)かつ(241)かつ(242)かつ(243)かつ(244)かつ(245)かつ(246)かつ(247)かつ(248)かつ(249)かつ(250)かつ(251)かつ(252)かつ(253)かつ(254)かつ(255)かつ(256)かつ(257)かつ(258)かつ(259)かつ(260)かつ(261)かつ(262)かつ(263)かつ(264)かつ(265)かつ(266)かつ(267)かつ(268)かつ(269)かつ(270)かつ(271)かつ(272)かつ(273)かつ(274)かつ(275)かつ(276)かつ(277)かつ(278)かつ(279)かつ(280)かつ(281)かつ(282)かつ(283)かつ(284)かつ(285)かつ(286)かつ(287)かつ(288)かつ(289)かつ(290)かつ(291)かつ(292)かつ(293)かつ(294)かつ(295)かつ(296)かつ(297)かつ(298)かつ(299)かつ(300)かつ(301)かつ(302)かつ(303)かつ(304)かつ(305)かつ(306)かつ(307)かつ(308)かつ(309)かつ(310)かつ(311)かつ(312)かつ(313)かつ(314)かつ(315)かつ(316)かつ(317)かつ(318)かつ(319)かつ(320)かつ(321)かつ(322)かつ(323)かつ(324)かつ(325)かつ(326)かつ(327)かつ(328)かつ(329)かつ(330)かつ(331)かつ(332)かつ(333)かつ(334)かつ(335)かつ(336)かつ(337)かつ(338)かつ(339)かつ(340)かつ(341)かつ(342)かつ(343)かつ(344)かつ(345)かつ(346)かつ(347)かつ(348)かつ(349)かつ(350)かつ(351)かつ(352)かつ(353)かつ(354)かつ(355)かつ(356)かつ(357)かつ(358)かつ(359)かつ(360)かつ(361)かつ(362)かつ(363)かつ(364)かつ(365)かつ(366)かつ(367)かつ(368)かつ(369)かつ(370)かつ(371)かつ(372)かつ(373)かつ(374)かつ(375)かつ(376)かつ(377)かつ(378)かつ(379)かつ(380)かつ(381)かつ(382)かつ(383)かつ(384)かつ(385)かつ(386)かつ(387)かつ(388)かつ(389)かつ(390)かつ(391)かつ(392)かつ(393)かつ(394)かつ(395)かつ(396)かつ(397)かつ(398)かつ(399)かつ(400)かつ(401)かつ(402)かつ(403)かつ(404)かつ(405)かつ(406)かつ(407)かつ(408)かつ(409)かつ(410)かつ(411)かつ(412)かつ(413)かつ(414)かつ(415)かつ(416)かつ(417)かつ(418)かつ(419)かつ(420)かつ(421)かつ(422)かつ(423)かつ(424)かつ(425)かつ(426)かつ(427)かつ(428)かつ(429)かつ(430)かつ(431)かつ(432)かつ(433)かつ(434)かつ(435)かつ(436)かつ(437)かつ(438)かつ(439)かつ(440)かつ(441)かつ(442)かつ(443)かつ(444)かつ(445)かつ(446)かつ(447)かつ(448)かつ(449)かつ(450)かつ(451)かつ(452)かつ(453)かつ(454)かつ(455)かつ(456)かつ(457)かつ(458)かつ(459)かつ(460)かつ(461)かつ(462)かつ(463)かつ(464)かつ(465)かつ(466)かつ(467)かつ(468)かつ(469)かつ(470)かつ(471)かつ(472)かつ(473)かつ(474)かつ(475)かつ(476)かつ(477)かつ(478)かつ(479)かつ(480)かつ(481)かつ(482)かつ(483)かつ(484)かつ(485)かつ(486)かつ(487)かつ(488)かつ(489)かつ(490)かつ(491)かつ(492)かつ(493)かつ(494)かつ(495)かつ(496)かつ(497)かつ(498)かつ(499)かつ(500)かつ(501)かつ(502)かつ(503)かつ(504)かつ(505)かつ(506)かつ(507)かつ(508)かつ(509)かつ(510)かつ(511)かつ(512)かつ(513)かつ(514)かつ(515)かつ(516)かつ(517)かつ(518)かつ(519)かつ(520)かつ(521)かつ(522)かつ(523)かつ(524)かつ(525)かつ(526)かつ(527)かつ(528)かつ(529)かつ(530)かつ(531)かつ(532)かつ(533)かつ(534)かつ(535)かつ(536)かつ(537)かつ(538)かつ(539)かつ(540)かつ(541)かつ(542)かつ(543)かつ(544)かつ(545)かつ(546)かつ(547)かつ(548)かつ(549)かつ(550)かつ(551)かつ(552)かつ(553)かつ(554)かつ(555)かつ(556)かつ(557)かつ(558)かつ(559)かつ(560)かつ(561)かつ(562)かつ(563)かつ(564)かつ(565)かつ(566)かつ(567)かつ(568)かつ(569)かつ(570)かつ(571)かつ(572)かつ(573)かつ(574)かつ(575)かつ(576)かつ(577)かつ(578)かつ(579)かつ(580)かつ(581)かつ(582)かつ(583)かつ(584)かつ(585)かつ(586)かつ(587)かつ(588)かつ(589)かつ(590)かつ(591)かつ(592)かつ(593)かつ(594)かつ(595)かつ(596)かつ(597)かつ(598)かつ(599)かつ(600)かつ(601)かつ(602)かつ(603)かつ(604)かつ(605)かつ(606)かつ(607)かつ(608)かつ(609)かつ(610)かつ(611)かつ(612)かつ(613)かつ(614)かつ(615)かつ(616)かつ(617)かつ(618)かつ(619)かつ(620)かつ(621)かつ(622)かつ(623)かつ(624)かつ(625)かつ(626)かつ(627)かつ(628)かつ(629)かつ(630)かつ(631)かつ(632)かつ(633)かつ(634)かつ(635)かつ(636)かつ(637)かつ(638)かつ(639)かつ(640)かつ(641)かつ(642)かつ(643)かつ(644)かつ(645)かつ(646)かつ(647)かつ(648)かつ(649)かつ(650)かつ(651)かつ(652)かつ(653)かつ(654)かつ(655)かつ(656)かつ(657)かつ(658)かつ(659)かつ(660)かつ(661)かつ(662)かつ(663)かつ(664)かつ(665)かつ(666)かつ(667)かつ(668)かつ(669)かつ(670)かつ(671)かつ(672)かつ(673)かつ(674)かつ(675)かつ(676)かつ(677)かつ(678)かつ(679)かつ(680)かつ(681)かつ(682)かつ(683)かつ(684)かつ(685)かつ(686)かつ(687)かつ(688)かつ(689)かつ(690)かつ(691)かつ(692)かつ(693)かつ(694)かつ(695)かつ(696)かつ(697)かつ(698)かつ(699)かつ(700)かつ(701)かつ(702)かつ(703)かつ(704)かつ(705)かつ(706)かつ(707)かつ(708)かつ(709)かつ(710)かつ(711)かつ(712)かつ(713)かつ(714)かつ(715)かつ(716)かつ(717)かつ(718)かつ(719)かつ(720)かつ(721)かつ(722)かつ(723)かつ(724)かつ(725)かつ(726)かつ(727)かつ(728)かつ(729)かつ(730)かつ(731)かつ(732)かつ(733)かつ(734)かつ(735)かつ(736)かつ(737)かつ(738)かつ(739)かつ(740)かつ(741)かつ(742)かつ(743)かつ(744)かつ(745)かつ(746)かつ(747)かつ(748)かつ(749)かつ(750)かつ(751)かつ(752)かつ(753)かつ(754)かつ(755)かつ(756)かつ(757)かつ(758)かつ(759)かつ(760)かつ(761)かつ(762)かつ(763)かつ(764)かつ(765)かつ(766)かつ(767)かつ(768)かつ(769)かつ(770)かつ(771)かつ(772)かつ(773)かつ(774)かつ(775)かつ(776)かつ(777)かつ(778)かつ(779)かつ(780)かつ(781)かつ(782)かつ(783)かつ(784)かつ(785)かつ(786)かつ(787)かつ(788)かつ(789)かつ(790)かつ(791)かつ(792)かつ(793)かつ(794)かつ(795)かつ(796)かつ(797)かつ(798)かつ(799)かつ(800)かつ(801)かつ(802)かつ(803)かつ(804)かつ(805)かつ(806)かつ(807)かつ(808)かつ(809)かつ(810)かつ(811)かつ(812)かつ(813)かつ(814)かつ(815)かつ(816)かつ(817)かつ(818)かつ(819)かつ(820)かつ(821)かつ(822)かつ(823)かつ(824)かつ(825)かつ(826)かつ(827)かつ(828)かつ(829)かつ(830)かつ(831)かつ(832)かつ(833)かつ(834)かつ(835)かつ(836)かつ(837)かつ(838)かつ(839)かつ(840)かつ(841)かつ(842)かつ(843)かつ(844)かつ(845)かつ(846)かつ(847)かつ(848)かつ(849)かつ(850)かつ(851)かつ(852)かつ(853)かつ(854)かつ(855)かつ(856)かつ(857)かつ(858)かつ(859)かつ(860)かつ(861)かつ(862)かつ(863)かつ(864)かつ(865)かつ(866)かつ(867)かつ(868)かつ(869)かつ(870)かつ(871)かつ(872)かつ(873)かつ(874)かつ(875)かつ(876)かつ(877)かつ(878)かつ(879)かつ(880)かつ(881)かつ(882)かつ(883)かつ(884)かつ(885)かつ(886)かつ(887)かつ(888)かつ(889)かつ(890)かつ(891)かつ(892)かつ(893)かつ(894)かつ(895)かつ(896)かつ(897)かつ(898)かつ(899)かつ(900)かつ(901)かつ(902)かつ(903)かつ(904)かつ(905)かつ(906)かつ(907)かつ(908)かつ(909)かつ(910)かつ(911)かつ(912)かつ(913)かつ(914)かつ(915)かつ(916)かつ(917)かつ(918)かつ(919)かつ(920)かつ(921)かつ(922)かつ(923)かつ(924)かつ(925)かつ(926)かつ(927)かつ(928)かつ(929)かつ(930)かつ(931)かつ(932)かつ(933)かつ(934)かつ(935)かつ(936)かつ(937)かつ(938)かつ(939)かつ(940)かつ(941)かつ(942)かつ(943)かつ(944)かつ(945)かつ(946)かつ(947)かつ(948)かつ(949)かつ(950)かつ(951)かつ(952)かつ(953)かつ(954)かつ(955)かつ(956)かつ(957)かつ(958)かつ(959)かつ(960)かつ(961)かつ(962)かつ(963)かつ(964)かつ(965)かつ(966)かつ(967)かつ(968)かつ(969)かつ(970)かつ(971)かつ(972)かつ(973)かつ(974)かつ(975)かつ(976)かつ(977)かつ(978)かつ(979)かつ(980)かつ(981)かつ(982)かつ(983)かつ(984)かつ(985)かつ(986)かつ(987)かつ(988)かつ(989)かつ(990)かつ(991)かつ(992)かつ(993)かつ(994)かつ(995)かつ(996)かつ(997)かつ(998)かつ(999)かつ(1000)かつ(1001)かつ(1002)かつ(1003)かつ(1004)かつ(1005)かつ(1006)かつ(1007)かつ(1008)かつ(1009)かつ(1010)かつ(1011)かつ(1012)かつ(1013)かつ(1014)かつ(1015)かつ(1016)かつ(1017)かつ(1018)かつ(1019)かつ(1020)かつ(1021)かつ(1022)かつ(1023)かつ(1024)かつ(1025)かつ(1026)かつ(1027)かつ(1028)かつ(1029)かつ(1030)かつ(1031)かつ(1032)かつ(1033)かつ(1034)かつ(1035)かつ(1036)かつ(1037)かつ(1038)かつ(1039)かつ(1040)かつ(1041)かつ(1042)かつ(1043)かつ(1044)かつ(1045)かつ(1046)かつ(1047)かつ(1048)かつ(1049)かつ(1050)かつ(1051)かつ(1052)かつ(1053)かつ(1054)かつ(1055)かつ(1056)かつ(1057)かつ(1058)かつ(1059)かつ(1060)かつ(1061)かつ(1062)かつ(1063)かつ(1064)かつ(1065)かつ(1066)かつ(1067)かつ(1068)かつ(1069)かつ(1070)かつ(1071)かつ(1072)かつ(1073)かつ(1074)かつ(1075)かつ(1076)かつ(1077)かつ(1078)かつ(1079)かつ(1080)かつ(1081)かつ(1082)かつ(1083)かつ(1084)かつ(1085)かつ(1086)かつ(1087)かつ(1088)かつ(1089)かつ(1090)かつ(1091)かつ(1092)かつ(1093)かつ(1094)かつ(1095)かつ(1096)かつ(1097)かつ(1098)かつ(1099)かつ(1100)かつ(1101)かつ(1102)かつ(1103)かつ(1104)かつ(1105)かつ(1106)かつ(1107)かつ(1108)かつ(1109)かつ(1110)かつ(1111)かつ(1112)かつ(1113)かつ(1114)かつ(1115)かつ(1116)かつ(1117)かつ(1118)かつ(1119)かつ(1120)かつ(1121)かつ(1122)かつ(1123)かつ(1124)かつ(1125)かつ(1126)かつ(1127)かつ(1128)かつ(1129)かつ(1130)かつ(1131)かつ(1132)かつ(1133)かつ(1134)かつ(1135)かつ(1136)かつ(1137)かつ(1138)かつ(1139)かつ(1140)かつ(1141)かつ(1142)かつ(1143)かつ(1144)かつ(1145)かつ(1146)かつ(1147)かつ(1148)かつ(1149)かつ(1150)かつ(1151)かつ(1152)かつ(1153)かつ(1154)かつ(1155)かつ(1156)かつ(1157)かつ(1158)かつ(1159)かつ(1160)かつ(1161)かつ(1162)かつ(1163)かつ(1164)かつ(1165)かつ(1166)かつ(1167)かつ(1168)かつ(1169)かつ(1170)かつ(1171)かつ(1172)かつ(1173)かつ(1174)かつ(1175)かつ(1176)かつ(1177)かつ(1178)かつ(1179)かつ(1180)かつ(1181)かつ(1182)かつ(1183)かつ(1184)かつ(1185)かつ(1186)かつ(1187)かつ(1188)かつ(1189)かつ(1190)かつ(1191)かつ(1192)かつ(1193)かつ(1194)かつ(1195)かつ(1196)かつ(1197)かつ(1198)かつ(1199)かつ(1200)かつ(1201)かつ(1202)かつ(1203)かつ(1204)かつ(1205)かつ(1206)かつ(1207)かつ(1208)かつ(1209)かつ(1210)かつ(1211)かつ(1212)かつ(1213)かつ(1214)かつ(1215)かつ(1216)かつ(1217)かつ(1218)かつ(1219)かつ(1220)かつ(1221)かつ(1222)かつ(1223)かつ(1224)かつ(1225)かつ(1226)かつ(1227)かつ(1228)かつ(1229)かつ(1230)かつ(1231)かつ(1232)かつ(1233)かつ(1234)かつ(1235)かつ(1236)かつ(1237)かつ(1238)かつ(1239)かつ(1240)かつ(1241)かつ(1242)かつ(1243)かつ



注：床下配管は、し尿処理装置工事に含む。

平面詳細図 S=1:50

換気設備 機器仕様表

記号	機器名称	機器仕様	電源 (60Hz)		消費電力 (W) (参考値)		台数	設置場所	参考型番 (同等品)
			相(φ)	電圧	定格時	発停方式			
EF-1	排気ファン	排気用有圧換気扇 (電動シャッター内蔵) 能力 200φ×250m ³ /h×30Pa 付属品 木枠、温度スイッチ 防虫網付ステンレス製ウェザーカバー	1	100	20	温度スイッチによる自動運転	2	倉庫	
OA-1	給気口	全閉機構付き給気口 室内側：樹脂製角型グリル 100φ 室外側：防虫網付平型バンドキャップ (スチール製・指定色塗装) 100φ					3	男子トイレ 女子トイレ ベビーチェア	

衛生器具表

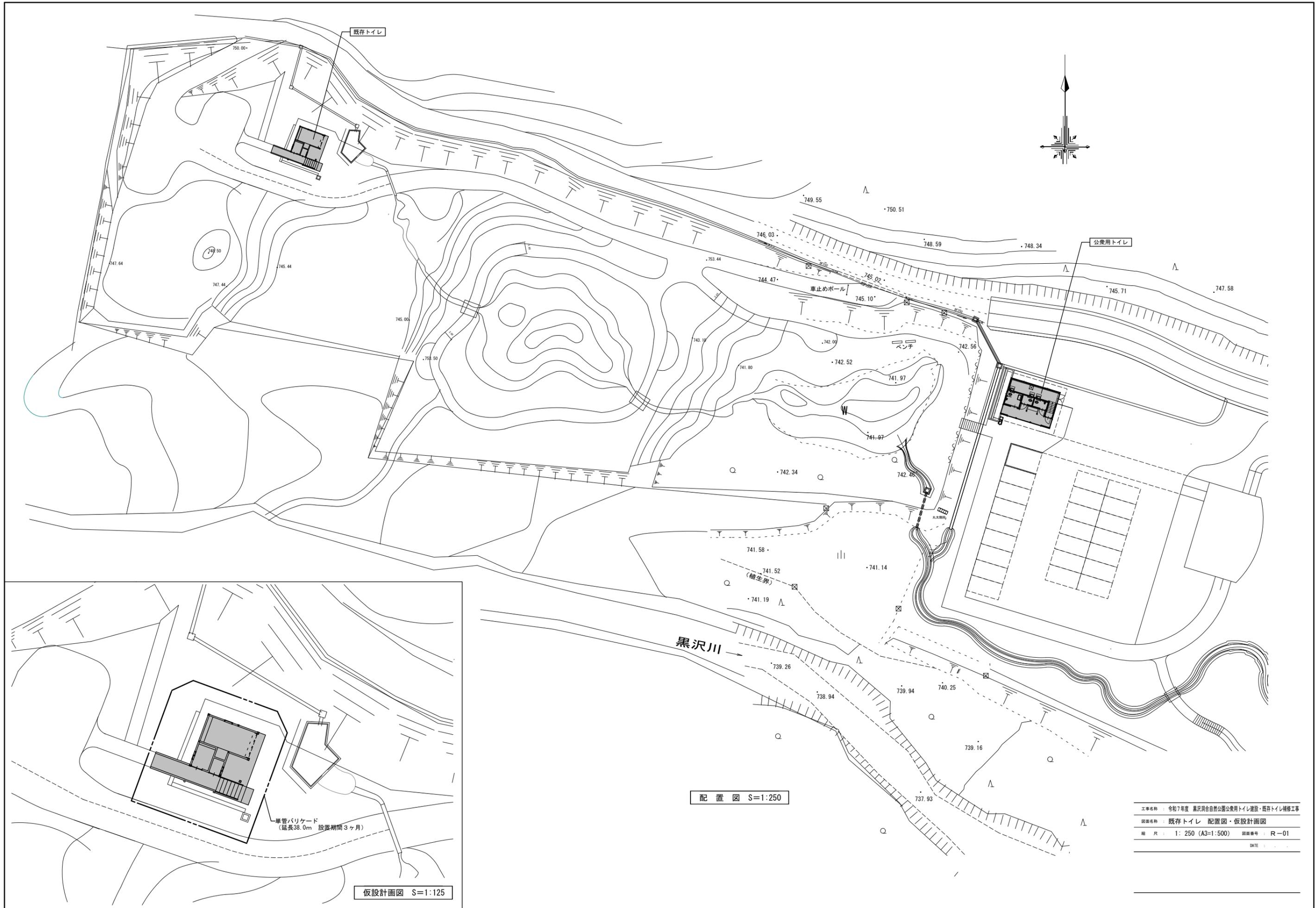
衛生器具	参考品番 (同等品)	付属品	合計	男子 トイレ	女子 トイレ	ベビー チェア	備考
非水洗腰掛便器	RPA001 (アサヒ製陶)	暖房便座 (DL46) ※ 排尿管接続用スパットは『し尿処理装置工事』支給品とし、取付は本工事とする。	3	1	1	1	他付属品共
紙巻き器		棚付2連紙巻器 (SUS)	3	1	1	1	他付属品共
非水洗床置き小便器	VRA001 (アサヒ製陶)		1	1			他付属品共
手すり		樹脂被覆 L型 700×700 前出し120	3	1	1	1	他付属品共
手すり		樹脂被覆 跳ね上げ式 700L	1			1	
ベビーシート		樹脂製 参考寸法：780×135(使用時560)×1145H(使用時950)	1			1	
ベビーチェア		平壁設置タイプ	1			1	

工事名称：令和7年度 黒沢洞自然公園公衆トイレ建設・既存トイレ補修工事

図面名称：公衆トイレ 機械設備平面図、換気設備機器仕様表、衛生器具表

縮尺：1:50 (A3=1:100) 図面番号：M-02

DATE： . . .

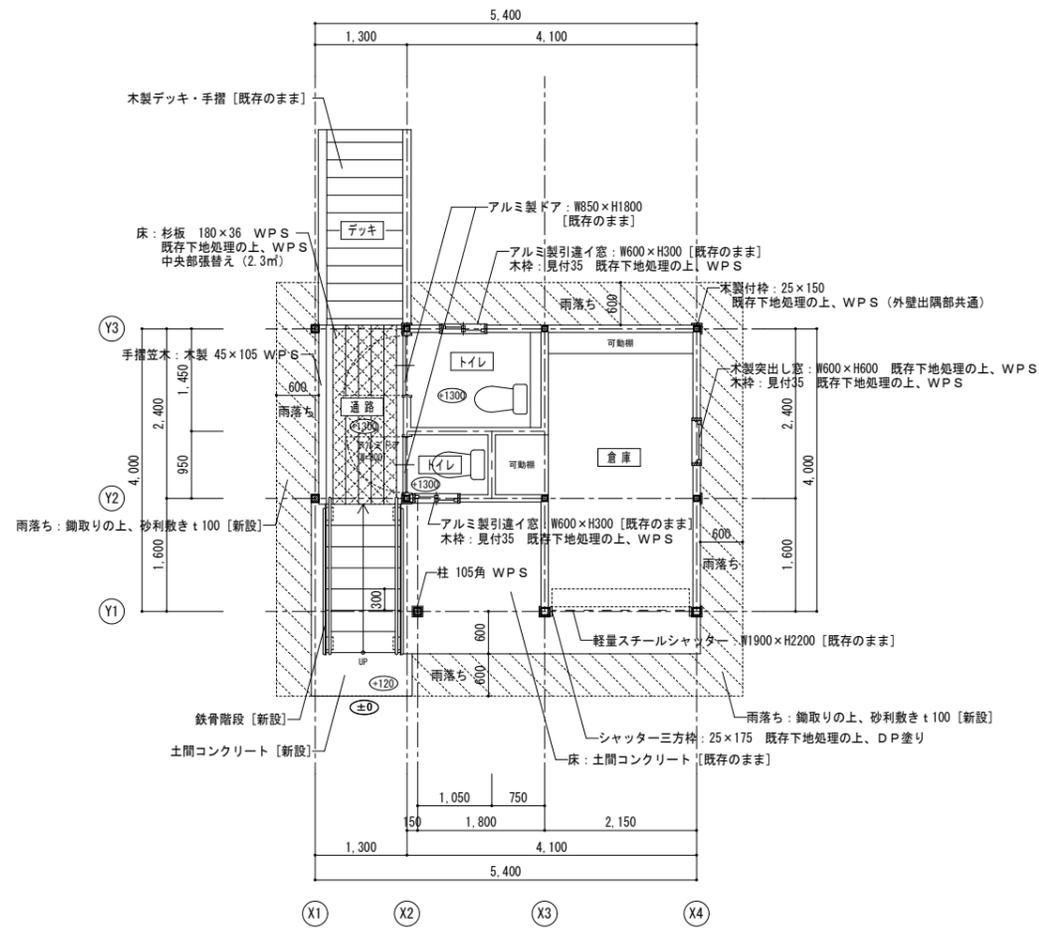


仮設計画図 S=1:125

配置図 S=1:250

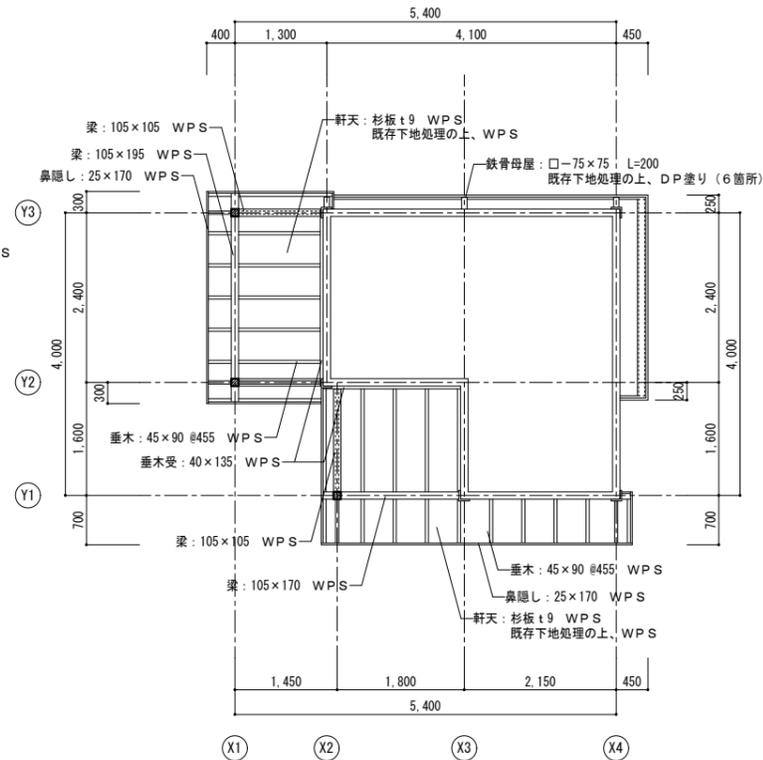
単管バリケード
(延長38.0m 設置期間3ヶ月)

工事名称 : 令和7年度 黒沢洞合自然公園公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事
 図面名称 : 既存トイレ 配置図・仮設計画図
 縮尺 : 1:250 (A3=1:500) 図面番号 : R-01
 DATE :



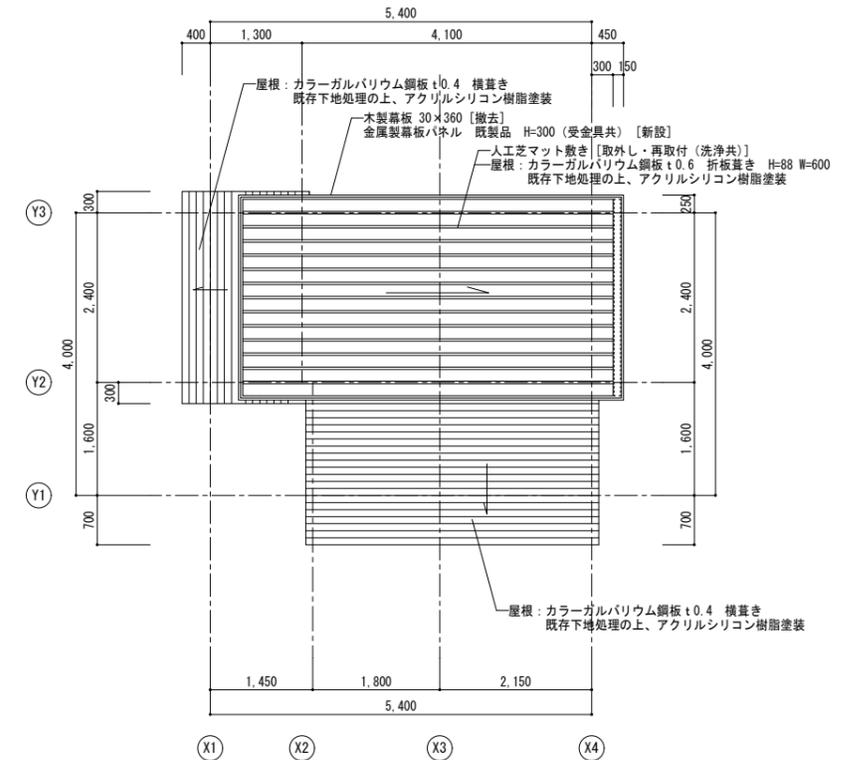
平面図 S=1:50

※柱、手摺、木柱等の木部は、既存下地処理の上、木材保護着色塗料塗とする。



天井伏図 S=1:50

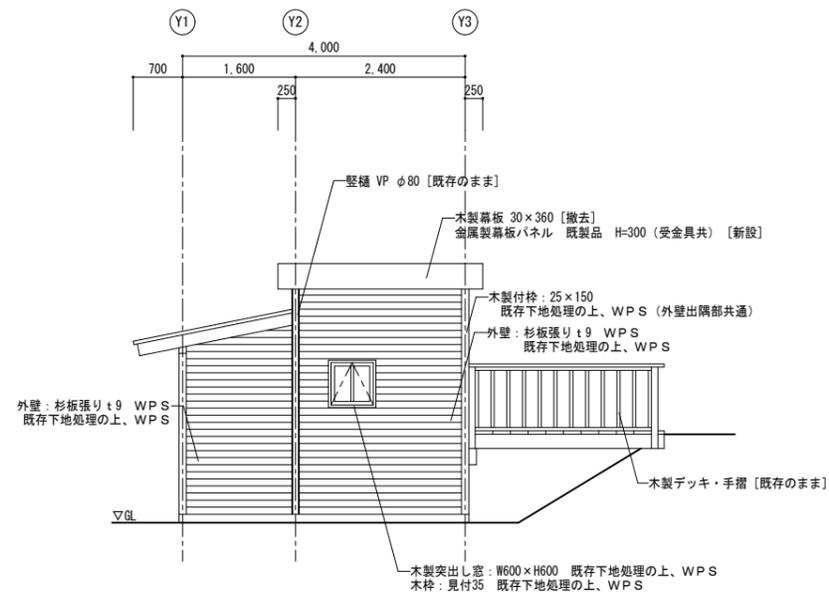
※梁、垂木、鼻隠し、破風板等の木部は、既存下地処理の上、木材保護着色塗料塗とする。



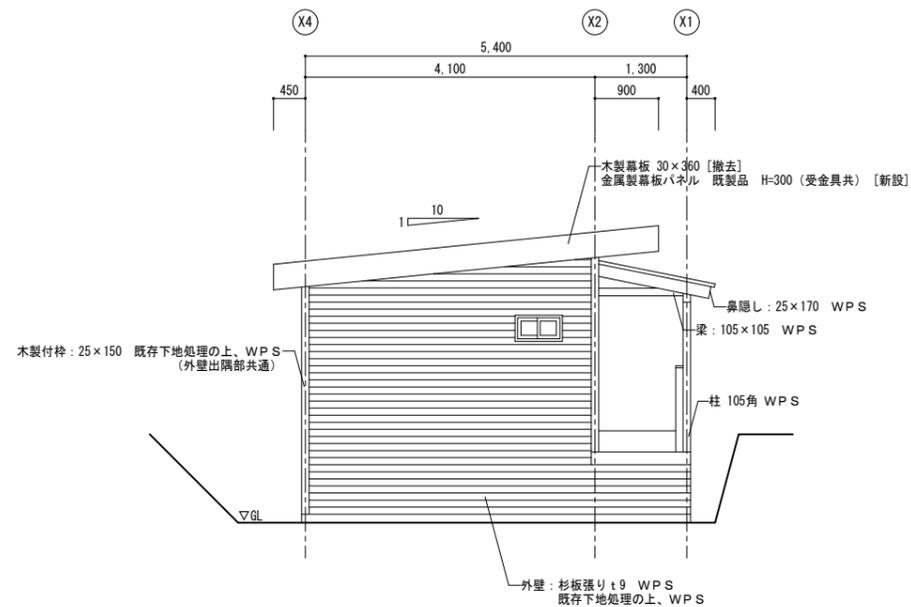
屋根伏図 S=1:50

塗装凡例	WPS: 木材保護着色塗料塗り (キシラデコール同等品)
	DP: 耐候性塗料塗り

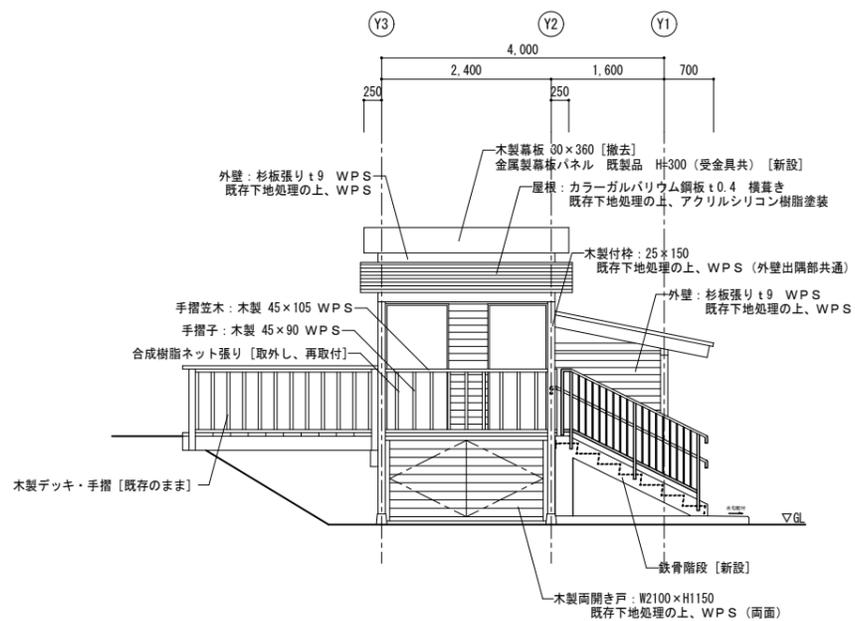
工事名称	令和7年度 黒沢洞自然公園公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事
図面名称	既存トイレ 平面図・天井伏図・屋根伏図
縮尺	1:50 (A3=1:100) 図面番号: R-02
DATE	



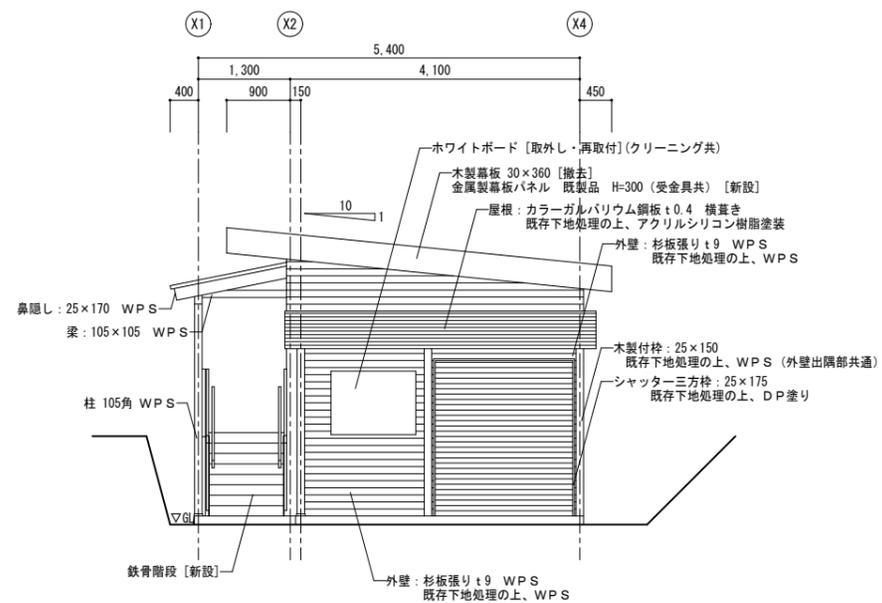
北側立面図



西側立面図



南側立面図

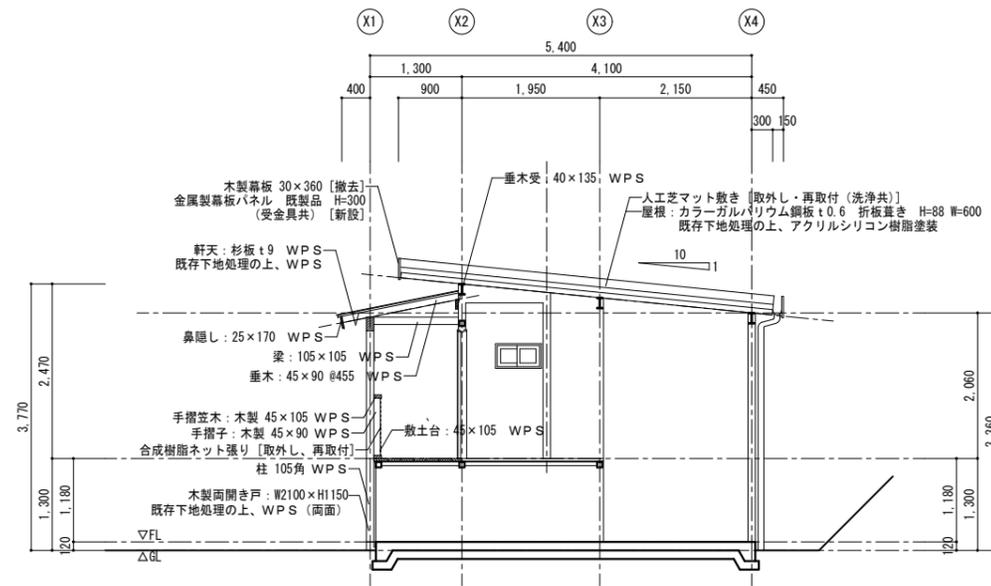


東側立面図

塗装凡例	WPS: 木材保護着色塗料塗り (キシラデコール同等品)
	DP: 耐候性塗料塗り

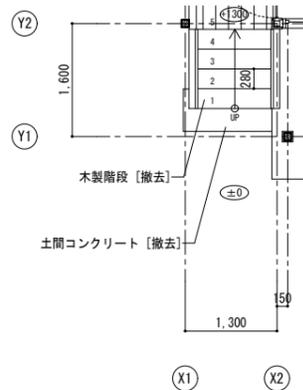
※柱、梁、鼻隠し、破風板、手摺等の木部は、既存下地処理の上、木材保護着色塗料塗とする。

工事名称	令和7年度 黒沢洞自然公園公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事
図面名称	既存トイレ 立面図
縮尺	1:50 (A3=1:100)
図面番号	R-03
DATE	

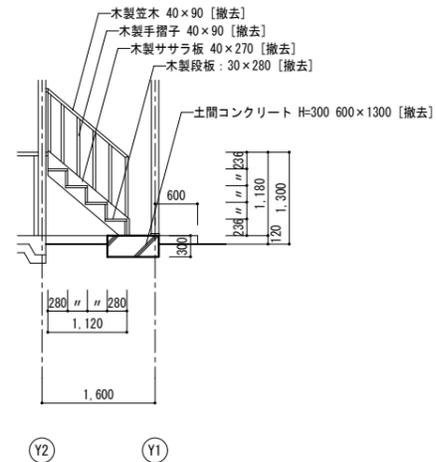


断面図 S=1:50

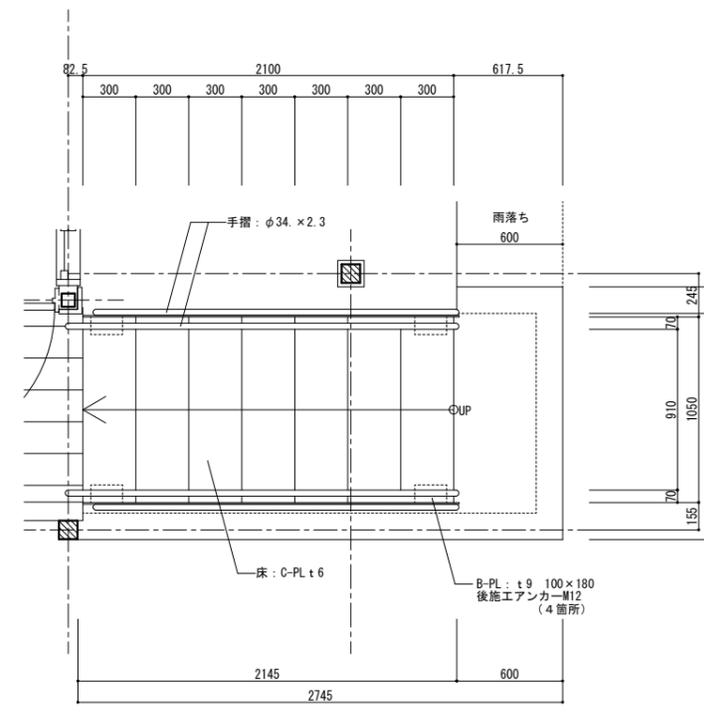
※柱、梁、垂木、鼻隠し、手摺等の木部は、既存下地処理の上、木材保護着色塗料塗とする。



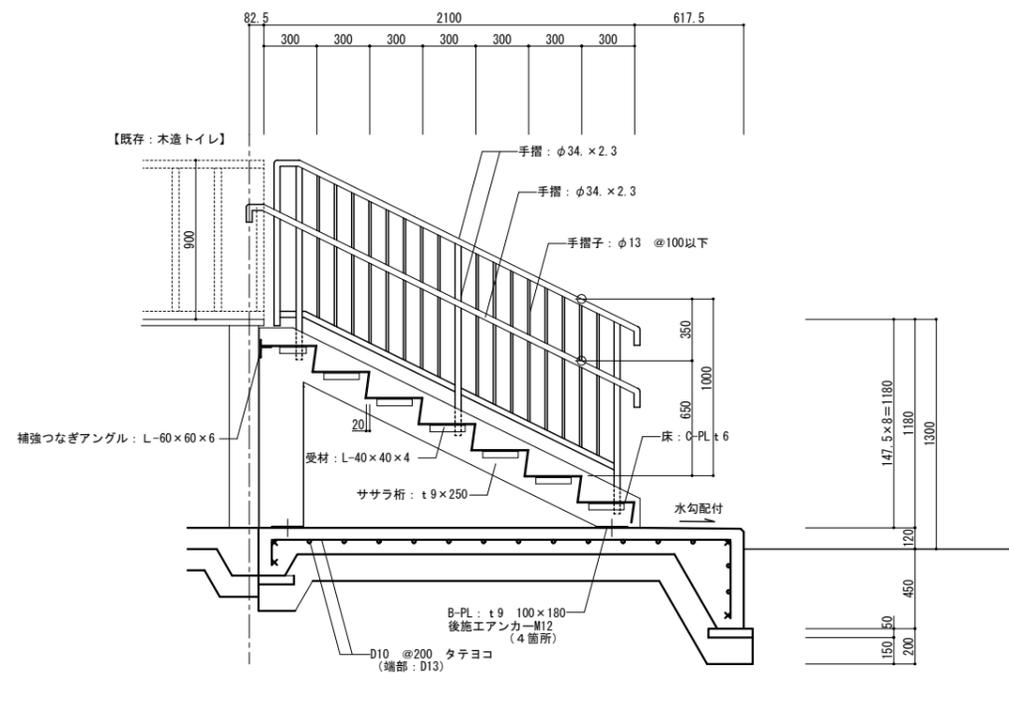
〔撤去〕階段平面図 S=1:50



〔撤去〕階段断面図 S=1:50



〔新設〕階段平面図 S=1:20



〔新設〕階段断面図 S=1:20

※鉄部は溶融亜鉛メッキ処理とする。